

# 岐阜県博物館報

第43号

2020  
岐阜県博物館



## はじめに

岐阜県博物館は、県立の総合博物館として昭和51年5月に開館して以来、「岐阜県にゆかりのあるもの」を中心に調査研究・資料収集・保管・展示を行うことで、県民に広く学びの場を提供してまいりました。この間、岐阜県の学術文化及び博物館教育の拠点として、大変多くの皆様にご利用いただきましたことを心から感謝申し上げます。

令和元年度は館内での展覧会（特別展、企画展、マイミュージアムギャラリー展示）のほか、外部機関との連携企画展や移動展を開催しました。

特別展「剣精霊貫白虹一幕末美濃の剣豪と名刀」（7月12日～9月8日）では、横倉喜三次を中心に幕末美濃の群像を取り上げ、名工・源清麿や美濃の御勝山永貞の名刀など幕末から明治期の新々刀を紹介しました。特別展「岐阜は日本のだ真ん中―岐阜県植物誌は語る―」（9月20日～11月17日）では、岐阜県植物誌に示された植物の分布状況を根拠とし、岐阜が日本のだ真ん中であることを新たな岐阜の魅力として紹介しました。企画展「ひだの地質紀行―ようこそ自然豊かな飛騨の大地へ―」（4月27日～6月23日）では、当館が所蔵する標本を中心に展示し、自然豊かな飛騨地方の大地の姿を紹介しました。企画展「岐阜の城館探訪―城が語る郷土の歴史―」（11月23日～1月26日）では、県内に800か所もある城館跡の調査成果からこの地域の歴史を見直しました。このほか、岐阜県図書館にて連携企画展「岐阜の山城調査―フィールドワークの魅力―」（4月27日～6月19日）及び「清流長良川―鮎を育む自然と文化―」（1月18日～2月29日）、さらに飛騨高山まちの博物館にて移動展「ヒアリがやってくる―外来生物とはなにものか―」（6月29日～8月25日）も開催しました。

令和2年度は、特別展「みんなの恐竜学」では、県内初公開のディプロドクスの復元骨格や、国内初のタイ王国恐竜足跡化石産地のVR展示などにより幅広い世代が楽しめる恐竜展を開催します。特別展「光秀が駆けぬけた戦国の岐阜」では、信長・秀吉・家康や明智光秀とともに活躍した岐阜ゆかりの武将にかかわる文書・甲冑・出土品などを展示し、美濃と飛騨の地と人が中世～近世の時代の変化に果たした役割を探ります。企画展「ヒアリがやってくる―外来生物とはなにものか―」では、当館所蔵の外来生物の標本を展示して、岐阜県で見られる外来生物の現状からふるさと岐阜の豊かな自然が抱える問題を考えます。企画展「岐阜の縄文1800遺跡」では、遺跡の立地や土器、石器などを展示して、当時の岐阜県の自然と資源の多様化や、ものの動きや文化の広がりなどのネットワークの広がりについて考察していきます。

このほか、博物館・図書館連携企画展「オリンピックの歴史とデザイン」及び「千磨百錬 よみがえる赤羽刀」、博物館・岐阜大学連携企画展「岐阜大学と岐阜県植物誌」、移動展「飛騨と岐阜県植物誌」等、館外で開催する展覧会も計画しています。また、三重県総合博物館（MieMu）の交流企画講演会を含む全18回の講演会や、ナイトミュージアムを含む全33回のけんぱく教室を開催するなど、広く県民の皆様が親しみ、学んでいただける催し物を多数計画しております。加えて、調査研究活動、資料収集保管活動、サポーター協働事業、外部機関との連携イベント、収蔵品や資料の館外展示による観覧機会の提供など、より一層の魅力発信に努めてまいります。

ここに、令和元年度の活動の記録を紹介する「岐阜県博物館報 第43号」を刊行いたしました。県民の皆様をはじめ多くの方々にご高覧いただき、当館の更なる発展のために引き続きご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年4月1日

岐阜県博物館長 川本 敏

# 目 次

はじめに

## I 博物館概要

1 設置目的	1
2 基本的性格	1
3 基本方針	1
4 沿革	2
5 歴代館長名簿	3
6 施設・設備	4

## II 令和2年度の組織・体制

1 職員	6
2 展示活動	7

## III 令和元年度のあゆみ

1 職員	9
2 岐阜県博物館協議会	10
3 日誌抄	10
4 実施事業の概要	11
5 展示活動	11
6 調査研究活動	23
7 資料収集活動	26
8 教育普及活動	27
9 利用状況	35
10 博物館関係団体	36

IV 利用案内(令和2年度)	37
----------------	----

# I 博物館概要

## 1 設置目的

岐阜県の人文、自然両分野にわたる諸資料を収集、保管、調査研究、公開し、併せて教育普及活動を行うことにより、広く県民の学習の場となり、また文化財保護の精神の涵養に役立て、新しい教養と文化の発展に寄与することを目的とする。

## 2 基本的性格

- ・岐阜県の人文（考古、歴史、民俗、美術工芸）、自然（動物、植物、地学、古生物）等に関する諸資料の収集保管、展示、調査研究及びそれらの活用を図る総合博物館とする。
- ・県内外の博物館及び相当施設との活発な交流を図るとともに、本県の中央博物館としての役割を果たす内容と設備を有する施設とする。
- ・学校・社会教育機関等との密接な連携を図り、利用者が楽しく学習することができ、未来への研究心と創造性を開発できるような生涯学習機関とする。
- ・館蔵資料や地域情報のデジタル化を進め、ホームページの広報機能と学習機能を充実させる。
- ・資料の収集及び保存並びに展示に関する専門的な調査研究を推進する。

## 3 基本方針

### (1) 資料収集活動

県内の人文・自然等に関する資料を収集する。

資料は、実物を中心とするが、必要に応じて厳密な考証に基づく復元模型を含める。

寄贈、寄託、借用、購入等により収集する。

### (2) 展示構成

展示は、常設展示と企画展示とする。

常設展示は、人文・自然の2部門に分け、それぞれ総合展示と課題展示を行う。

総合展示は、概説的な内容とし、誰もが親しめる平易な展示とする。

課題展示は、コーナー毎にテーマを設定して、概説にとどまらない、より深く理解するための展示とする。

企画展示は、一定期間に、特定のテーマを設定して年に数本を行う特別展・資料紹介展などがある。

展示は以下の点に留意する。

- ・生涯学習の場として、幅広い年齢層に親しめる展示
  - ・資料の単なる羅列ではなくストーリー性のある展示
  - ・各時代の特色やテーマの本質をとらえた展示
  - ・できる限り実物資料の展示とするが、図表や模型等の資料も活用した展示
  - ・できる限り資料に直接触れることのできる展示
  - ・視聴覚機器などを取り入れ、見る人に強く訴える展示
  - ・解説が明確で分かりやすい展示
- 各展示室の主題と内容は、次のとおりである。

#### ・人文展示室（人文総合展示）

主題「郷土のあゆみ」…先史時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を展示する。

#### ・自然展示室1（自然総合展示）

主題「郷土の自然とおいたち」…郷土の自然の概要を系統的に展示する。

#### ・自然展示室2（自然課題展示）

主題「郷土のさまざまな自然」…特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示する。

#### ・特別展示室、企画展示室

一定期間に、特定のテーマを設定して、資料紹介するなど、年に数本の特別展・企画展を行う。特別展期間中の企画展示室や企画展期間中の特別展示室では、人文課題展示を行う。

### (3) 調査研究活動

- ・博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行う。
- ・博物館資料の保管及び展示等に関する技術的な研究を行う。

### (4) 教育普及活動

- ・展示や博物館資料に関連した教育普及活動を行う。
- ・学校教育や社会教育の関係機関・団体との連携・協力を努める。
- ・サポーターとの協働活動を推進する。
- ・マイミュージアムギャラリーを運営し、個人などによって収集・所蔵されているコレクションを公開展示することにより、生涯学習の成果発表の場とするなど、県民文化の向上と交流を図る。

## 4 沿革

昭和46年	3月	岐阜県百年記念事業推進委員会において博物館建設決定	昭和61年	4月	特別展「徳山の四季とくらし」	10月	入館者160万人を突破	
	4月	教育委員会社会教育課に博物館準備担当を配置		7月	特別展「奥飛騨の自然」	12月	ユタ州訪問(花フェスタ'95展示化石の借用、交流の推進)	
	6~9月	博物館懇談会を設ける		9月	人文展示室1を改装	平成 7年	3月	マイ・ミュージアム棟工事完成
昭和47年	4月	博物館開設準備室を設置 展示委員会を設ける	昭和62年	4月	特別展「飛騨の弥生時代」 入館者110万人を突破		4月	特別展「岐阜の淡水魚」 花フェスタ'95にユタ州恐竜化石を展示
昭和48年	8月	起上式挙行		7月	特別展「外国から侵入した生きものたち」		7月	マイ・ミュージアム(マルチメディア情報センター)落成式典挙行、一般公開
昭和49年	3月	展示実施計画樹立		10月	特別展「飛騨の匠」 旧徳山村民家移築復元		8月	恐竜ゼミナールGIFU'95開催
	10月	定礎式	昭和63年	1月	自然展示室1を改装		10月	特別展「美濃・飛騨の古代史発掘～律令国家の時代～」 入定三百年記念「円空展」(共催名古屋市)
昭和50年	3月	展示工事着手		4月	特別展示室ショーケース改修 特別展「ふるさとの湿原」		11月	円空シンポジウム「世界における円空」
	7月	本館建築竣工		7月	中部未来博'88記念展「中山道～美濃十六宿～」	平成 8年	4月	高校生常設展入館料無料化
昭和51年	1月	展示工事完了		10月	特別展「中生代の化石」 入館者120万人を突破		5月	入館者170万人を突破
	4月	岐阜県博物館条例公布 岐阜県博物館設置 展示資料等製作完了	平成元年	4月	特別展「濃飛の古墳時代」 特別展「ふるさとの野鳥」		7月	開館20周年記念展「恐竜のふるさとユタ」
	5月	開館記念式典挙行 一般公開「巨匠三人展」・「スポーツ栄光展」		7月	特別展「16日恐竜足跡化石白川村で発見 特別展「移ろいゆく年中行事」		8月	アメリカ合衆国ユタ州プリガムヤング大学付属地球科学博物館と友好提携調印式挙行
	7月	皇太子・同妃殿下下行啓		10月	特別展「輪中と治水」 日本生命財団から図書「岐阜県博物館総合案内」4,000冊寄贈		10月	飛騨美濃合併120周年記念展「岐阜県の明治維新」
	8月	特別展「ふるさとの文楽」 入館者10万人を突破	平成 2年	4月	特別展「白山の自然」 恐竜足跡化石レプリカ除幕式 グリーンアドベンチャー標識設置(自然観察のこみち) 岐阜県博物館協議会に「新しい時代・県民ニーズに対応できる博物館の在り方について」諮問 入館者130万人を突破		11月	飛騨美濃合併120周年記念「文化講演会」(阿川弘之氏、山田智彦氏(作家))
	10月	入館料徴収開始		7月	特別展「濃飛の伝像」	平成 9年	3月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」中山道編ソフト完成
	11月	特別展「熊谷守一展」		10月	岐阜県博物館協議会から中間答申		4月	特別展「花と鳥のイリュージョン～江戸の学問と芸術～」
昭和52年	5月	特別展「日本伝統工芸秀作展」 入館者20万人を突破	平成 3年	3月	岐阜県博物館案内標識を設置		9月	特別展「薬草のふるさと伊吹」
	7月	特別展「郷土の化石展」		4月	特別展「ふるさとの木の文化」		11月	入館者180万人を突破 棚橋賞受賞「岐阜県博物館“マイ・ミュージアム”～来るべき世紀の新しい博物館を目指して～」
	11月	特別展「鉄斎」		7月	特別展「ふるさとの哺乳動物」	平成10年	3月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」飛騨街道・郡上街道編ソフト完成 アロサウルス骨格標本展示
昭和53年	4月	入館者30万人を突破 特別展「濃飛の甲冑」		10月	置県120年・岐阜鹿児島姉妹県盟約20周年記念展「鹿児島～その自然と歴史～」 入館者140万人を突破		4月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」完成記念事業:風土記フォーラム「マルチメディアで調べる岐阜の魅力」
	7月	特別展「世界のコガネムシ」	平成 4年	3月	岐阜県博物館協議会から「新しい時代・県民ニーズに対応する博物館の在り方について」答申		7月	特別展「つのつのかぶとむし」
	10月	特別展「能面と装束」		4月	特別展「飛騨のあけぼの～交流する縄文・古代人～」		9月	特別展「能面へのいざない～白山山麓から～」
昭和54年	4月	入館者40万人を突破 特別展「濃飛の先史時代」		7月	特別展「恐竜王国・恐竜～謎とロマン～」	平成11年	7月	特別展「恐竜時代～モンゴルと手取層群の恐竜たち～」 入館者190万人を突破
	7月	特別展「世界の貝」		10月	特別展「近世に輝く濃飛の群像」		9月	特別展「恐竜時代」 特別展入館者4万人突破
	10月	特別展「濃飛の文人」	平成 5年	3月	入館者150万人を突破		10月	特別展「水とまつり～古代人の祈り～」 特別陳列「円空展～魂を木に刻んで～」
	11月	「視覚障害者(触察)コーナー」開設		4月	特別展「土と炎の芸術」	平成12年	7月	特別展「海を越えた明治～ヨーロッパが愛した焼き物の美～」
昭和55年	4月	特別展「宝暦治水と薩摩藩」		7月	29日大型ほ乳類足跡化石を美濃加茂市で発掘			
	5月	入館者50万人を突破		10月	特別展「失われゆく植物」			
	7月	特別展「化石の世界」		11月	「ハイパーハイビジョン風土記」イメージシミュレーションソフト完成			
	10月	特別展「糞虫山人」	平成 6年	1月	20日マイ・ミュージアム棟起工式			
昭和56年	4月	特別展「美濃の絵馬」		3月	大型ほ乳類足跡化石を展示			
	5月	入館者60万人を突破		4月	特別展「川に生きる～水運と漁労～」			
	7月	特別展「御岳山は生きている」		8月	恐竜の歯等荘川村で発見			
	10月	特別展「ふるさとの美濃古陶」		9月	特別展「美濃山地の自然」			
昭和57年	4月	特別展「高賀山の信仰」 入館者70万人を突破						
	7月	特別展「ふるさとの植物」						
	10月	特別展「東洋の貨幣」						
昭和58年	4月	特別展「岐阜県の考古遺物」						
	5月	入館者80万人を突破						
	7月	特別展「長良川」						
	10月	特別展「郷土の生んだ先覚者」						
昭和59年	4月	特別展「濃飛の戦国武将」						
	7月	特別展「ふるさとの昆虫」						
	8月	入館者90万人を突破						
	10月	学習ビデオスタジオコーナー設置 特別展「濃飛の蘭学」						
昭和60年	4月	特別展「濃飛の縄文時代」						
	7月	特別展「鉱物の世界」						
	10月	特別展「美濃の刀剣」 入館者100万人を突破						
	12月	自然展示室2を改装						

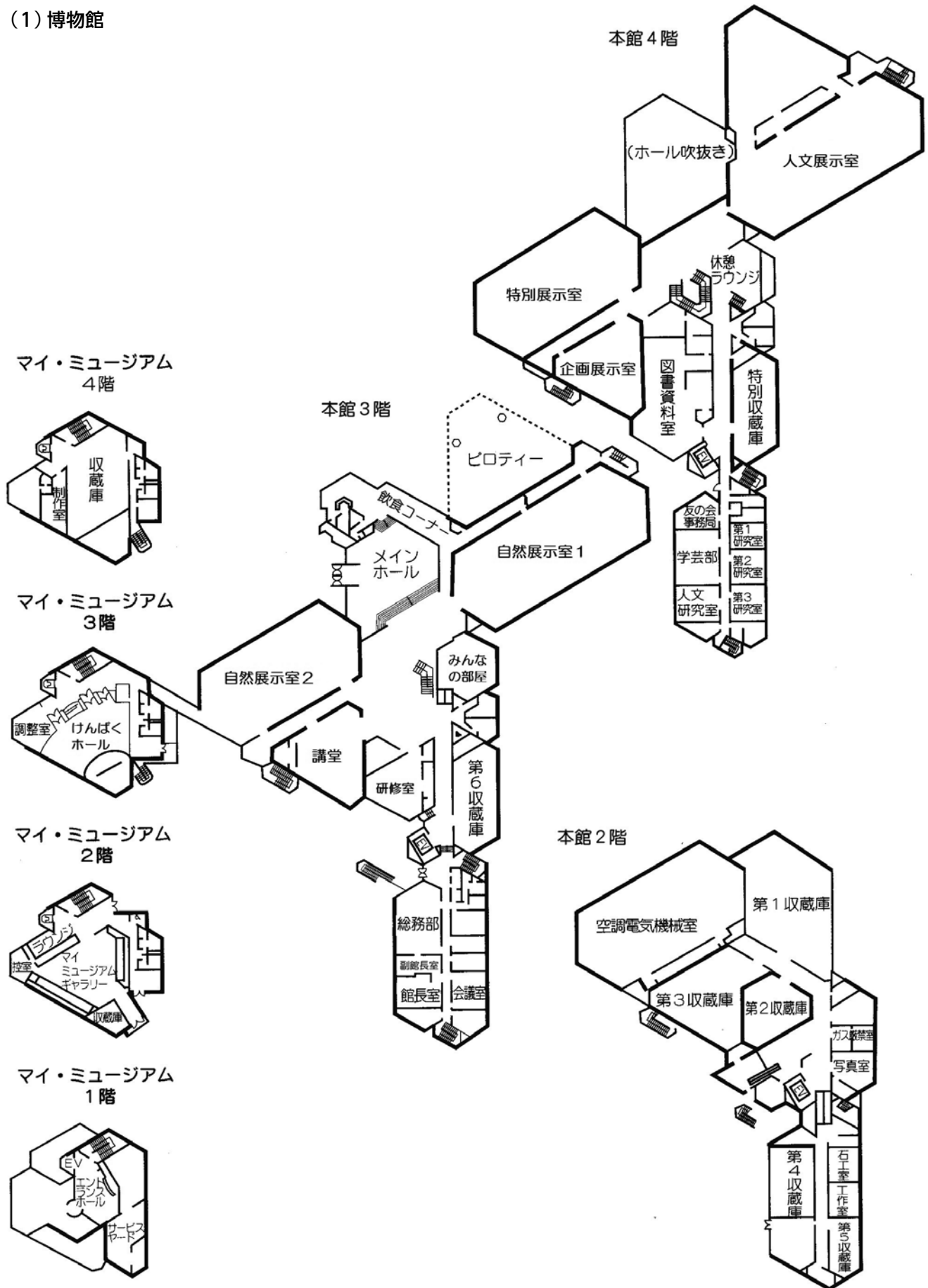
9月	特別展「すばらしき東濃の自然、再発見～巨大ヒノキが見てきた生き物たち～」	5月	開館30周年記念植樹 モリゾー・キッコロ来館 全国植樹祭中濃サテライト会場～来館者全員招待入館～	7月	移動展開始
11月	入館者200万人を突破	8月	入館者240万人を突破 飛騨美濃合併130周年記念行事博物館1日無料開放	9月	特別展「自然のくすり箱～薬草とわたしたちの暮らし～」
平成13年 7月	特別展「あのころいた鳥～そういえばキもおったげな～」	9月	飛騨美濃合併130周年記念特別展「錦絵が語る美濃と飛騨」	平成28年 7月	飛騨美濃合併140周年・岐阜県博物館開館40周年記念特別展 「新・恐竜学～鳥になった恐竜の脳科学～」
9月	特別展「七代目団十郎と国貞、国芳～芝居、錦絵、中山道～」	11月	文化の日博物館無料開放	入館者290万人を突破	
11月	ハイビジョン静止画番組「石ころの動物園」(マイ・ミュージアムギャラリー)	平成19年 7月	特別展「恐竜と生命の大進化～中国雲南5億年の旅～」	8月	カリコテリウム類の化石(国内初発見)特別展示
平成14年 2月	全国ハイビジョン手づくりソフトフェスタ2001グランプリ受賞 NEDO共同研究事業太陽光発電システム完成	9月	特別展「発掘された日本列島2007～新発見考古速報展～」	9月	飛騨美濃合併140周年・岐阜県博物館開館40周年記念特別展「東海地方の円空仏」
3月	バリアフリー対策事業小型モノレール(スロープカー)完成	10月	入館者250万人を突破	平成29年 4月	SNS開設
4月	特別展「温泉展～湯の華からのメッセージ～」	11月	文化の日博物館無料開放開始	7月	民間施設連携開始 特別展「生きている大地～地質図が語るぎふの大地～」
5月	入館者210万人を突破	平成20年 5月	日本生命財団から図書「岐阜県博物館総合案内」3,800冊寄贈	博物館・図書館連携企画展開始	
10月	特別展「中山道街道400年」	9月	特別展「骨のあるやつ」	9月	中濃地域連携企画展 特別展「壬申の乱の時代～美濃国・飛騨国の誕生に迫る」
平成15年 7月	特別展「昭和くらしの歩み～30年代を中心に～」	10月	入館者260万人を突破	10月	関市シティバス「百年公園前」バス停新設
9月	特別展「野の幸・山の幸、岐阜～発見!キノコと山菜、薬草の魅力～」	平成22年 7月	特別展「川-カワ・イイね!～流れが作り出す自然～」	12月	収藏品選集製作
10月	入館者220万人を突破	平成23年 9月	開館35周年記念特別展「濃尾震災120年」	平成30年 4月	特別企画展「兼定 刀都・関の名工」
平成16年 7月	特別展「タイムトラベル石器時代～大昔はどんなくらしをしていたの?～」	11月	入館者270万人を突破	5月	入館者300万人を突破
9月	特別展「里山ミュージアム～ドングリころおオオタカびゅん～」	平成24年 7月	特別展「ジオペディアぎふ」	7月	特別展「理科室からふるさとの自然を見つめて～知れば知るほど面白い標本の世界～」
平成17年 4月	高校生以下入館料年間無料化(特別展入館料無料化)	9月	特別展「飛騨・美濃の信仰と造形」 特別展「岐阜、染と織の匠たち」	博物館機能全県展開本格稼働	
5月	入館者230万人を突破	平成25年 9月	特別展「弥生大集落-荒尾南遺跡が語るモノと心-」	9月	特別展「信長・秀吉・家康と美濃池田家-大御乳・池田恒興・輝政の戦い-」
7月	特別展「線路はつづくよ～岐阜、鉄道のあゆみ～」	平成26年 2月	入館者280万人を突破	令和元年 7月	特別展「剣精霊貫白虹-幕末美濃の剣豪と名刀-」
9月	特別展「『名水・温泉・名勝』展～水と大地のハーモニー～」	7月	特別展「奇なるものへの挑戦、明治大正/異端の科学」	9月	特別展「岐阜は日本のど真ん中-岐阜県植物誌は語る-」
平成18年 4月	開館30周年記念式典挙行 開館30周年記念特別展「緑いきいき!岐阜の森」	9月	特別展「里山いま昔-人と自然あらたな“絆”を求めて-」		
		平成27年 4月	百年公園駐車場を無料化 特別展「天下人の時代～信長・秀吉・家康と美濃～」		

## 5 歴代館長名簿

	在職期間(年度)	氏名		在職期間(年度)	氏名
1	昭和51年	小幡忠良	15	平成15年～平成16年	武山 柁司
2	昭和52年～昭和54年	松尾 克美	16	平成17年	下畑 五夫
3	昭和55年～昭和56年	大橋 桃之輔	17	平成18年	古川 和明
4	昭和57年～昭和58年	吉本 幹彦	18	平成19年～平成20年	高屋 一行
5	昭和59年	関谷 美智男	19	平成21年	浅野 裕司
6	昭和60年～昭和61年	廣田 照夫	20	平成22年	石田 克
7	昭和62年～昭和63年	森崎 利光	21	平成23年～平成24年	河合 正明
8	平成元年～平成2年	伊藤 秀幸	22	平成25年～平成26年	後藤 弘之
9	平成3年～平成4年	篠田 幸男	23	平成27年	杉原 茂男
10	平成5年～平成6年	横山 勢津男	24	平成28年	水谷 淳子
11	平成7年～平成8年	清水 廣美	25	平成29年	中島 守
12	平成9年～平成10年	高田 晃	26	平成30年～令和元年	平井 克昭
13	平成11年～平成12年	遠藤 祐神	27	令和2年	川本 敏
14	平成13年～平成14年	高橋 宏之			

# 6 施設・設備

## (1) 博物館





## 主要室 (名称及び面積)

本館	室名	面積 (㎡)	マイ・ミュージアム	室名	面積 (㎡)
2階	第1収蔵庫	314.1	1階	エントランスホール	76.0
	第2収蔵庫	126.0			
	第3収蔵庫	192.0			
	第4収蔵庫	99.4			
	第5収蔵庫	55.0			
3階	自然展示室1	583.8	2階	マイミュージアムギャラリー 収蔵庫室	202.3 25.3 18.5
	自然展示室2	478.8			
	みんなの部屋	95.4			
	講堂	174.5			
	研修室	93.2			
	第6収蔵庫	142.8			
4階	人文展示室	942.3	3階	けんぱくホール 調整室	192.3 47.0
	特別展示室	478.8			
	企画示室	193.2			
	図書資料室	232.2			
	特別収蔵庫	142.8			
本館合計		4,344.3	マイ・ミュージアム棟合計		842.7

## (2) 館外施設

### ① 自然観察のこみち

館内における“郷土の自然”の展示に対応し自然環境の中に生きた展示として、季節とともに移り変わる自然のすがたを観察できるようにしたこみちである。

全長約830mで、途中見晴らし台が2か所、ツツジの群生地、百草園、マンサクの林などが設けられている。

なお、樹林の特徴などが学習できるようグリーンアドベンチャー常設コースとして、樹木にQ&Aパネルを設置している。

### ② 旧徳山村民家

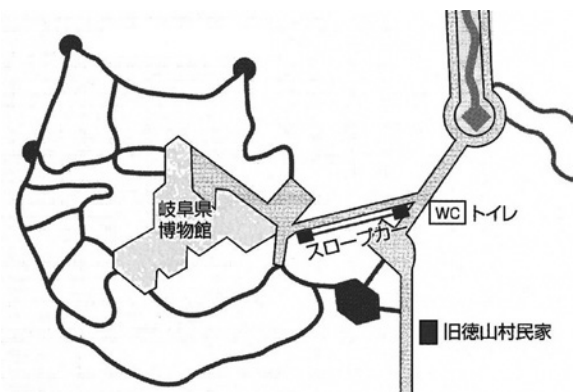
徳山ダム建設に伴い、徳山村は廃村となった(揖斐川町に合併)が、徳山の生活を後世に語り継ぐため、当時徳山村戸入在住の宮川澄雄さんから家屋の提供を受け、昭和62年10月7日、移築復元を完了したもので、生活用具なども展示し、無料公開している(現在外観のみ公開)。

平成30年11月、「旧宮川家住宅主屋」として国登録有形文化財に登録された。令和元年度より整備事業を進めている。

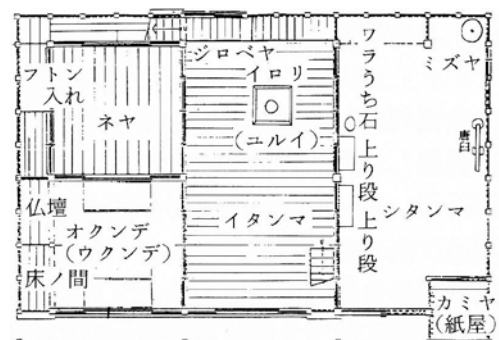
- ・様式: 木造かやぶき2階建、南平入り
- ・主材: ブナ、トチ ・建面積: 120.97㎡ ・延面積: 197.48㎡
- ・間取り: 右図参照 ・建築年代: 幕末から明治前期ごろと推定
- ・屋根: 入母屋、切り落とし窓つき



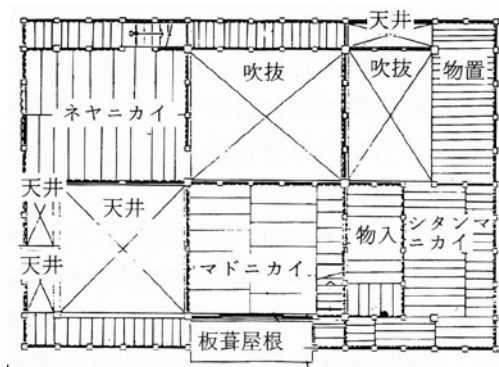
旧徳山村民家



自然観察のこみち



1階間取り図

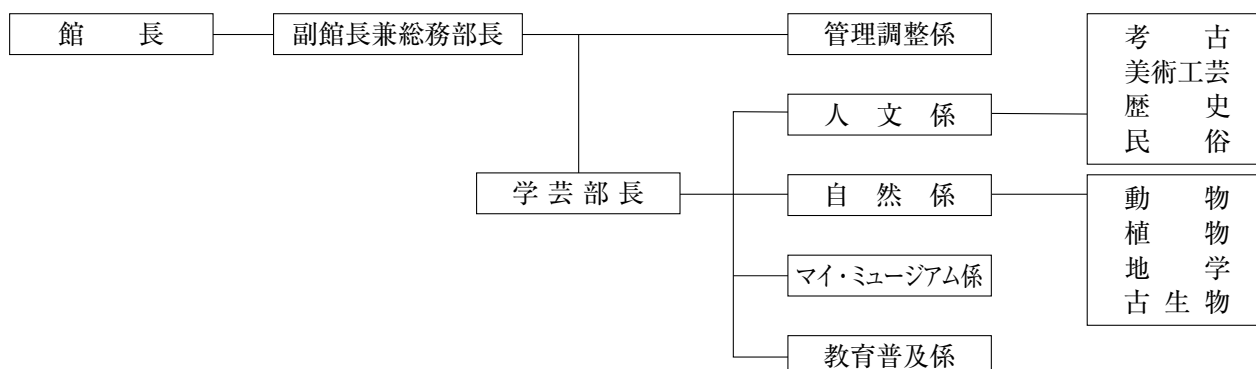


2階間取り図

## II 令和2年度の組織・体制

### 1 職員

#### (1) 機構



#### (2) 職員名簿

職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名
館長	川本 敏	【学芸部】			
副館長兼総務部長	今瀬 千秋	学芸部長	山田 昭彦	[マイ・ミュージアム係]	
		兼マイ・ミュージアム係長		主 査	金子 好孝
【総務部】				主 事	加賀 隆志
[管理調整係]		[人文係]		補助職員	益田 豊子
課長補佐兼係長	大野 英悟	係長(考古)	近藤 大典		
主 査	酒井田 恭子	主査(美術工芸)	立花 昭	[教育普及係]	
主 任	小池 明美	〃(民俗)	南本 有紀	課長補佐兼係長	渡邊 寛樹
主 事	佐藤 宏紀	主 任(歴史)	安藤 均	課長補佐	小島 剛太
会計・人事労務業務専門職	小野 真紀			主 査	澤村 雄一郎
補助職員	沢 智美	[自然係]		学芸業務専門職	橋本 清
		係長(動物)	説田 健一	〃	高屋 嘉文
		課長補佐(植物)	土屋 寿美	〃	武藤 由子
		主 任(地学)	熊澤 忍	管理業務専門職	坪井 宏美
		〃(古生物)	高津 翔平	〃	長田 麻友子
				〃	加藤 章
				〃	福島 江里菜
				〃	福倉 橋美紀子
				〃	鈴木 奈おみ

#### (3) 異動(令和2年4月1日)

転出者(退職者)	館長	課長補佐兼係長	課長補佐	主査	主 任	主 事	学芸業務専門職	職員	転入者	館長	課長補佐	主 査	主 任	主 事	学芸業務専門職	補助職員	
	平井 克昭	長屋 幸二	松本 正樹	可児 美紀	竹中 初男	吉田 泰久	柴田 香	市村 祥		川本 敏	小島 剛太	土屋 寿美	澤村 雄一郎	酒井田 恭子	安藤 均	熊澤 忍	加賀 隆志
								(井上 好章)									高屋 嘉文
								(石田 邦子)									沢 智美

## 2 展示活動

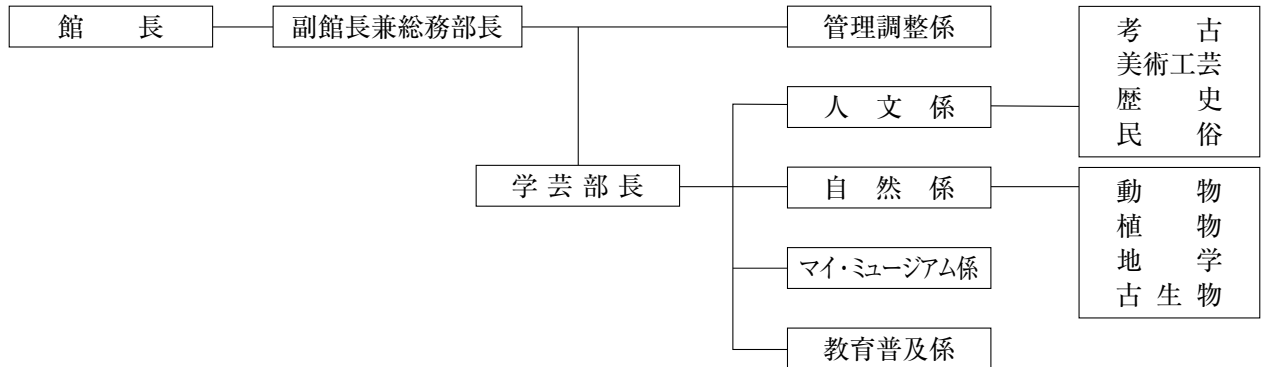
展示名	期間	展示内容
常設展	年間	人文展示室では「郷土のあゆみ」を主題とし、先史時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を展示します。特別展示室または企画展示室では「郷土の民俗と美術工芸」を主題とし、特色ある郷土の民俗と美術工芸を部門別、時代別に展示します。自然展示室1では「郷土の自然と私たち」を主題とし、郷土の自然の概要を系統的に展示します。自然展示室2では「郷土のさまざまな自然」を主題とし、特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示します。
移動展 「飛騨と岐阜県植物誌」 (会場：飛騨高山まちの博物館)	4/12(日) ～6/21(日)	標高3,000mを超える北アルプスの高山を有し、多雪地帯も分布している飛騨。そこに息づく多様で特異な植物の分布を記録したのが、およそ20年間の調査研究を要し、2019年夏に発刊された「岐阜県植物誌」です。当展では、飛騨出身で植物研究を進めた長瀬秀雄氏、二村延夫氏らが作製した植物標本、調査資料、植物画を通して、豊かな自然に恵まれた飛騨と岐阜県植物誌の魅力を紹介いたします。
企画展 「ヒアリがやってくる —外来生物とはなにものか—」	4/25(土) ～6/14(日)	岐阜県は、地域によって気候や地形に大きな差があり、飛騨山脈に生息するライチョウや濃尾平野に特有な淡水魚など、多様な生物が見られます。その一方で、アライグマやオオキンケイギクなどの外来生物がふるさとの生物多様性に大きな影響を与えています。当展では、当館が所蔵する外来生物の標本を展示することで、岐阜県で見られる外来生物の現状を知り、ふるさとの豊かな自然が抱える問題を考えます。
博物館・図書館連携企画展 「オリンピックの歴史とデザイン」 (会場：岐阜県図書館)	4/25(土) ～6/21(日)	近代オリンピックは、クーベルタン男爵の提唱によって1896年にアテネで第1回大会が開催され、その後、1912年のストックホルム大会では日本人が初参加し、1964年には東京で東洋初となるオリンピックが開催されるなど、今大会にいたるまで様々なドラマがありました。当展では、こうしたオリンピック・パラリンピックの歴史をたどりながら、ポスターなど大会に関する製作物のデザイン的な側面にも焦点を当てて紹介します。
特別展 「みんなの恐竜学」	7/3(金) ～9/6(日)	日本産の恐竜化石の新種発見・報告が続く今日、今や日本はアジア有数の恐竜化石産出国のひとつとなっています。岐阜県においても、1987年のヒブシロフォドン類の歯の化石発見をきっかけに多数の恐竜の歯の化石や足跡化石が見つかっています。本特別展では、県内初公開のディプロドクスの復元骨格や、国内初のタイ王国恐竜足跡化石産地のVR展示など、子供から大人まで幅広い世代が楽しめる恐竜展を開催します。
博物館・岐阜大学連携企画展 「岐阜大学と岐阜県植物誌」 (会場：岐阜大学図書館)	8/17(月) ～10/7(水)	およそ20年の歳月を費やし、2019年夏に「岐阜県植物誌」が発刊されました。岐阜県植物誌は、県内に分布するシダ植物と種子植物をすべて網羅しており、種ごとの検索表、全種の分布図、代表的な植物の植物画及び調査に基づいた岐阜県の特徴的な植物の紹介があり、全国に誇ることのできるものです。本移動展では、岐阜大学に保管されている証拠標本を中心に、岐阜県植物誌が語る植物の魅力を紹介いたします。
特別展 「光秀が駆けぬけた戦国の岐阜」	9/18(金) ～11/15(日)	当館歴史分野の「天下統一と岐阜」シリーズ第4弾。中世から近世へと時代が大きく変化した戦国の世、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の三人の天下人や明智光秀に深く関わった岐阜ゆかりの武将や文化を紹介します。今回は戦国の世を生き抜いた稲葉家や森家を中心に、戦国の岐阜を彩った武将や文化を示す文書・甲冑・出土品などの文化財を展示します。美濃・飛騨の大地と人が中世から近世への時代の変化に果たした役割を探り、戦国の岐阜をあらためて見つめなおします。
企画展 「岐阜の縄文 1800 遺跡」	11/21(土) ～1/24(日)	岐阜県には数多くの縄文時代遺跡があり、縄文時代の人々にとって暮らしやすい環境であったようです。発掘成果から、岐阜県の縄文社会は、利用できる資源の多様化や互助的ネットワークなどによって構築された「持続可能な社会」であったことがわかってきました。当企画展では、遺跡の立地や土器、石器などを展示し、当時の岐阜県の自然と資源の多様化、ものの動きや文化の広がりなどネットワークの広がりについて考察し、岐阜県の自然や文化の特質を紹介いたします。

展 示 名	期 間	展 示 内 容
博物館・図書館連携企画展 「千磨百錬 よみがえる赤羽刀」 (会場：岐阜県図書館)	1/19(火) ～3/14(日)	「赤羽刀」とは、戦後、GHQに接取された後、国を介して全国の博物館に返還された日本刀をいいます。平成11年(1999)、3,209点が、刀工の出身地等に関連する公立博物館等に一般公開を条件に譲与され、当館では168点を受領しました。これらの赤羽刀は劣悪な保管環境によって錆びつき、大半が展示できる状態ではないため、当館では、譲渡時に研磨済みの5点を除く163点について、順次、研磨して外装をつくっています。令和元年度までに48点(太刀2・小太刀2・刀26・短刀1・脇指14・槍2・薙刀1)を展示します。
マイミュージアムギャラリー 第1回展示 「《たかす開拓記念館移動展》 未来を夢見た 開拓ものがたり —満州から高鷲へ—」	4/4(土) ～5/10(日)	高鷲をはじめ郡上地域では、明治から戦前、戦中にかけて、多くの人々が北海道や満州へ開拓民として送り出されました。戦後、満州から引き揚げた人々によって高鷲地域も開拓されました。たかす開拓記念館は、こうした苦難を乗り越え豊かな郷土を築いてきた先人の「拓く力」をテーマとして開拓のあゆみを紹介しています。今回の展示では、記念館が所蔵する民具やジオラマなど約50点を展示するとともに、開拓者の証言映像や当時の写真を通して開拓のあゆみを紹介します。
マイミュージアムギャラリー 第2回展示 「懐かしのビン・コレクション 再び」	5/23(土) ～6/28(日)	瑞穂市在住の山田正利さんは、22年前に行きつけの骨董屋の主人から戦前の珍しい形のサイダーのビンを見せられたことがきっかけでガラスビンに興味を持ち、ビンの色合いやビンが醸し出す独特の美しさに魅せられました。清涼飲料水や牛乳、調味料から始まり、薬、インク、化粧品のビンやガラス製品を集め、平成22年にマイミュージアムギャラリー展示「懐かしのビン・コレクション」を開催しました。今回の展示では、前回から新たにコレクションに加わったビンやガラス製品を中心に約700点を展示し、ビンやガラス製品の魅力を紹介します。
マイミュージアムギャラリー 第3回展示 「生命のれきし40億年・ 木彫り恐竜骨格模型展」	7/11(土) ～9/6(日)	渡辺基文さんは、9歳の頃に遊びとして化石採集をはじめ、それ以来64年にわたって全国各地の化石産地へと足を運んで化石を採集するとともに、外国の化石にもふれ、生命の系統樹、進化にそった化石を収集してきました。今回は、5,000点以上のコレクションの中から約250点の化石を展示し、生命のはじまりから生命を40億年支えてきた生物の歴史を紹介します。また、田淵良二さんは、木彫りで恐竜の骨格模型を制作しています。その精巧さは高い評価を受け、全国各地で展覧会が開催されました。今回は、これまでに制作した恐竜をはじめとする骨格模型約30点を展示します。
マイミュージアムギャラリー 第4回展示 「増田孝コレクション 自筆書状の魅力」 前期：戦国武将の書状を中心に 後期：書状の優品選	前期 9/19(土) ～10/18(日) 後期 10/24(土) ～11/23(月・祝)	当館資料収集委員を2年務められた増田孝さんは、古筆研究の第一人者であり、親しみやすい語りでTV番組でもおなじみの人気鑑定士です。今回は、関ヶ原古戦場記念館の開館、当館開催の特別展「光秀が駆けぬけた戦国の岐阜」にあわせ、増田さんが古筆を研究する中で収集した、自筆書状約60点を展示します。前期は戦国武将の書状を中心に、後期は能書として知られる天皇や茶人、女性などの書状の展示を通して、増田さんがそれぞれの書状を収集した思い、書状から読み解くことができる人物像、そして自筆書状の魅力について紹介します。
マイミュージアムギャラリー 第5回展示 「現代によみがえる着物と帯」	12/5(土) ～1/24(日)	古裂美術工房は貴重な着物や帯の収集・保存・展示を行うとともに、そのデザインや縫製技術を研究し、「姫きもの」というミニチュアの芸術作品として現代に甦らせています。また、代表の吉野孝子さんは2018年世界最大の帯コレクションとしてギネス認定されました。今回は、吉野さんが収集した帯や、岐阜市在住の中村和世さんをはじめとする会員が制作した姫きものなどの作品を展示します。1月からは、諸事情により手放された雛人形を再生した「福よせ雛」も展示します。
マイミュージアムギャラリー 第6回展示 「小笠原流 弓と礼法」	2/6(土) ～3/21(日)	小笠原流は鎌倉時代より続く武家礼法、弓術、弓馬術の流儀です。現在は31世宗家小笠原清忠氏の指導により、全国約700名の門下生が修練しています。今回の展示では、普段は時代劇的一幕でしか見ることのない、武将たちが重んじていた立ち居振る舞いや人生の通過儀礼、武を示すとともに様々な祈りを表すための弓馬の技や作法を、様々な道具や写真を交えながら紹介します。

### Ⅲ 令和元年度のあゆみ

#### 1 職員

##### (1) 機構



##### (2) 職員名簿

職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名
館長	平井克昭	<b>【学芸部】</b>			
副館長兼総務部長	今瀬千秋	学芸部長 兼マイ・ミュージアム係長	山田昭彦	[マイ・ミュージアム係] 主査	金子好孝
<b>【総務部】</b>				〃	竹中初男
[管理調整係]		[人文係]		雇員	益田豊子
課長補佐兼係長	大野英悟	課長補佐兼係長(考古)	長屋幸二		
主査	柴田香	主査(美術工芸)	立花昭	[教育普及係]	
主任	小池明美	〃(歴史)	近藤大典	課長補佐兼係長	渡邊寛樹
主事	佐藤宏紀	〃(民俗)	南本有紀	主査	吉田泰久
〃	市村祥			学芸業務専門職	井上好章
会計・人事労務業務専門職	小野真紀	[自然係]		〃	橋本清菜
雇員	石田邦子	課長補佐兼係長(地学)	松本正樹	〃	鈴木春菜 (～元.11.30)
		課長補佐(植物)	可児美紀	〃	武藤由子 (元.12.1～)
		主査(動物)	説田健一	管理業務専門職	坪井宏美
		主任(古生物)	高津翔平	〃	長田麻友子
				〃	加藤章
				〃	福島江里菜
				〃	倉橋美紀子
				〃	鈴木奈おみ

##### (3) 異動(平成31年4月1日)

転出者 (退職者)	副館長兼総務部長 課長補佐兼係長	(小野精三) 岡田秀利 土田牧也 守屋靖裕 日比野新	転入者	副館長兼総務部長 課長補佐兼係長	今瀬千秋 大野英悟 渡邊寛樹 立花昭 小池明美 石田邦子
	〃			〃	
	主査			主査	
	〃			主任	
				雇員	

## 2 岐阜県博物館協議会

岐阜県博物館協議会は、博物館法及び岐阜県博物館条例に基づいて設置されている機関で、岐阜県博物館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる機関である。委員は次のとおりである。

氏名	現職名
小川 鈺子	岐阜県博物館友の会副会長
加藤 千尋	岐阜県PTA連合会母親委員
加藤 誉使子	公募委員
桐山 圭司	岐阜新聞社常務取締役
佐倉 一徳	NHK岐阜放送局長
清水 優子	中部学院大学・中部学院大学短期大学部附属桐が丘幼稚園長
杉山 博文	岐阜女子大学理事長
須山 知香	岐阜大学教育学部准教授
早野 雅子	岐阜県小中学校校長会 大野町立小中学校長
◎日比 治男	元岐阜県教育長、元岐阜県教育文化財団理事長
古川 秀昭	前岐阜県美術館長
山田 伝夫	中日新聞岐阜支社長

◎会長 (令和元年11月26日現在 五十音順・敬称略)  
任期は平成30年9月24日から令和2年9月23日

### (開催状況)

月 日 令和元年11月26日(火)

場 所 岐阜県博物館 講堂

#### ○次第

- (1)岐阜県博物館の現状と実績について
- (2)議題：大人も引き付ける博物館事業の展開について
- (3)その他(報告事項)：令和2年度の特別展・企画展計画について

#### ○主な提案・意見

- ・博物館の全県展開事業に関すること
- ・学芸員の精力的な活動に関すること
- ・総合博物館としての在り方と館の特徴に関すること
- ・文化財の伝承や環境保全保護等の指導や情報発信に関すること

## 3 日誌抄

- 1 人事異動に伴う辞令交付
- 13 けんぱく教室「久松真一記念館、哲学と禅と茶を体感する半日旅行」
- 14 出張けんぱく教室「やまがたまるごと市」
- 14 けんぱく教室「百年公園で春を見つけよう」
- 20 MMG展示「[知の巨人]久松真一「禅と芸術」の世界」(~5/19)
- 21 けんぱく教室「取蔵庫探検-自然史標本の役割を知る-」
- 27 博物館・図書館連携企画展「岐阜の山城調査-フィールドワークの魅力-」(~6/19)
- 27 企画展「ひだの地質紀行-ようこそ自然豊かな飛騨の大地へ-」(~6/23)
- 28 講演会「上松博士の超マニアック化石講座-日本最古の化石コダントの謎に迫る-」
- 29 けんぱく教室「貝化石発掘・クリーニング体験」
5. 2 けんぱく教室「まが玉をつくらう」
- 3 けんぱく教室「笛をつくって遊ぼう」
- 4 けんぱく教室「家族で昆虫標本をつくらう」
- 5 けんぱく教室「恐竜を造らう」
- 5 けんぱく教室「恐竜を組み立てよう」
- 11 講演会「年号のはじまり-古代の改元-」
- 14 ミニ企画展「錦絵でみる光秀と戦国①」(~6/16)
- 18 出張けんぱく教室「スプリングフェスティバル、けんぱくワークショップ」
- 19 出張けんぱく教室「スプリングフェスティバル、けんぱくワークショップ」
- 25 出張けんぱく教室「カラフルタウンワークショップ」
- 28 博物館・岐阜大学連携企画展「Historia Universitatis Gifuensis~岐阜大学70年のあゆみ~」(~8/23)
6. 1 講演会「山城調査の楽しみ-岐阜県の城を中心に-」
- 1 講演会「隕石からわかる太陽系の成り立ち」
- 2 けんぱく教室「縄文ものづくり体験-編布編みをやってみよう-」
- 16 出張けんぱく教室「マーゴワークショップ」※中止
- 18 ミニ企画展「錦絵でみる光秀と戦国②」(~7/15)
- 22 MMG展示「美濃編織-江戸時代に想いをつなぐ手紡ぎ手織りの縮木綿-」(~7/21)
- 23 けんぱく教室「Such Such Such キャンパバ!in 岐阜県博物館」(共催：岐阜県美術館)
- 29 移動展「ヒアリがやってくる-外来生物とはなにものか-」(~8/25)
- 30 講演会「わたしのカブトムシの研究」
7. 7 けんぱく教室「割製にさわって学ぶ、アライグマの秘密」
- 12 特別展「剣精霊貫白虹-幕末美濃の剣豪と名刀-」(~9/8)
- 17 けんぱく-養老町連携企画展「飛騨怪巖の養老公園-絵図から見た養老公園の変遷-」(~9/23)
- 17 ミニ企画展「錦絵でみる光秀と戦国③」(~8/18)
- 20 講演会「美濃の幕末群像」
- 21 出張けんぱく教室「モレラキッズチャレンジワーク」※中止
- 23 マーゴキッズクラブ岐阜県博物館体験ツアー
- 23 博物館実習(~7/27)
- 27 けんぱく教室「恐竜を描こう」
- 31 教員のための博物館の日(~8/2)
8. 3 MMG展示「鉄道模型で見る昭和から平成、そして令和へ」(~9/1)
- 3 けんぱく教室「恐竜を造らう」
- 4 けんぱく教室「無双直伝英信流 演武」
- 10 けんぱく教室「鹿角ストラップをつくらう」
- 10 講演会「刀剣鑑賞と博物館展示」
- 11 けんぱく教室「サマーナイトミュージアム」
- 15 小屋名精霊送り「チンチカカ」の日限定小屋名地区住民限定無料入館日
- 16 けんぱく教室「刀匠による銘切り実演-オリジナルキーホルダーを手に入れよう-」
- 17 けんぱく教室「取蔵庫探検-自然史標本の役割を知る-」
- 18 講演会「アンモナイトの遺骸は浮か沈むか? Did ammonoid carcasses surface or sink?」
- 20 ミニ企画展「錦絵でみる光秀と戦国④」(~9/23)
- 24 けんぱく教室「恐竜時代の化石発掘体験」
- 24 出張けんぱく教室「甲冑作品展示と組紐ストラップ作り」
- 27 けんぱく-関市連携企画展示、神灯設置記念「春日神社の祭礼」(~10/27)
- 28 特別展「剣精霊貫白虹-幕末美濃の剣豪と名刀-」来場者1万人突破
9. 14 MMG展示「☆時の輝き☆からくり・おもしろ古時計展Part2」(~10/27)
- 20 特別展「岐阜は日本のど真ん中-岐阜県植物誌は語る-」(~11/17)
- 15 講演会「西軍の関ヶ原」
- 21 けんぱく教室「学芸員と会いに行く横蔵寺の仏像(拝観会)」
- 25 ミニ企画展「錦絵でみる光秀と戦国⑤」(~10/27)
- 28 けんぱく教室「身近な植物を使ってハロウィンの季節飾りをつくらう」
- 28 博物館・岐阜大学連携企画展「Historia Universitatis Gifuensis~岐阜大学70年のあゆみ~」(~11/10)
- 28 出張けんぱく教室「恐竜ライブペインティング」
- 29 出張けんぱく教室「恐竜ライブペインティング」
- 29 出張けんぱく教室「山県ふるさと栗まつり2019」
10. 5 講演会「植物のかたち、その観察」
- 6 講演会「どうしても伝えたい古時計の話-『家康公の時計』400年の秘密はか-」※中止
- 12 講演会「岐阜県植物誌から浮かんだ岐阜県を特徴づける植物」※中止
- 13 けんぱく教室「オータムナイトミュージアム」
- 19 出張けんぱく教室「オータムフェスティバル、けんぱくワークショップ」
- 20 出張けんぱく教室「オータムフェスティバル、けんぱくワークショップ」
- 26 けんぱく教室「百年公園で秋を見つけよう」
- 27 講演会「岐阜県植物誌のカバノキ科をどのような視点でとめたか」
- 29 ミニ企画展「錦絵でみる光秀と戦国⑥」(~12/1)
11. 2 MMG展示「関藩主大嶋雲八と現代甲冑展」(~12/22)
- 3 けんぱく教室「岐阜へふるさとを学ぶ日(無料開放日)けんぱくワークショップ」
- 3 出張けんぱく教室「文化の森 秋祭り」
- 3 けんぱく教室「小笠原流弓の演習」
- 3 MMG関連催し物「甲冑試着体験①」
- 8 特別展「岐阜は日本のど真ん中-岐阜県植物誌は語る-」来場者1万人突破
- 10 MMG関連催し物「甲冑試着体験②」
- 16 出張けんぱく教室「ぎふサイエンスフェスティバル」
- 17 けんぱく教室「和紙のオリジナル年賀はがきをつくらう-和紙のすばらしさ・秘密に迫る-」
- 17 講演会「大嶋雲八の生涯と活躍」
- 23 企画展「岐阜の城館探訪-城が語る郷土の歴史-」(~1/26)
- 23 講演会「白山信仰のひろがり」と造形文化-美濃・飛騨そして越中-」
- 23 MMG関連催し物「甲冑試着体験③」
- 24 けんぱく教室「学芸員と見学する篠脇城の山城遺構」※中止
- 30 けんぱく教室「徳山のくらし体験 地獄うどんを食べよう」
12. 1 MMG関連催し物「甲冑試着体験④」
- 1 出張けんぱく教室「sekiいきいきフェスタ」
- 3 ミニ企画展「錦絵でみる光秀と戦国⑦」(~1/5)
- 7 まーさキッズスマイル岐阜県博物館体験学習
- 8 講演会「織田信長と甲冑」
- 8 出張けんぱく教室「カラフルタウンワークショップ」
- 10 関市連携企画展示「関市文化財-埋蔵文化財-仏教美術」(~3/15)
- 15 けんぱく教室「取蔵庫探検-自然史標本の役割を知る-」
- 15 講演会「織田政権と東美濃・飛騨の山城」
- 22 けんぱく教室「クリスマス・ナイトミュージアム」
- 23 年末すす払い、メインホールの恐竜全身骨格
1. 4 MMG展示「美濃源氏土岐一族と明智光秀」(~3/8)
- 5 MMG講座「武家茶道 式正織部流披露-呈茶の実演」
- 7 けんぱく教室「七草がゆを食べよう」
- 7 けんぱく教室「ちょっと昔の正月遊び」
- 7 ミニ企画展「錦絵でみる光秀と戦国⑧」(~2/9)
- 12 MMG講座「武家茶道 式正織部流披露-呈茶の実演」
- 18 博物館・図書館連携企画展「清流長良川-鮎を育む自然と文化-」(~3/15) ※2/29より中止
- 18 NHK「麒麟がくる」全国巡回展(~1/24)
- 18 出張けんぱく教室「ハートフルフェスタ2020」
- 19 MMG講座「武家茶道 式正織部流披露-呈茶の実演」
- 19 出張けんぱく教室「マーサワークショップ」
- 26 講演会「平安時代後期の京都と美濃源氏」
- 26 MMG講座「武家茶道 式正織部流披露-呈茶の実演」
2. 2 講演会「僕が川漁師になったわ!」
- 2 MMG講座「武家茶道 式正織部流披露-呈茶の実演」
- 9 MMG講座「武家茶道 式正織部流披露-呈茶の実演」
- 11 ミニ企画展「錦絵でみる光秀と戦国⑨」(~3/15)
- 15 出張けんぱく教室「マーゴワークショップ」
- 16 講演会「愛宕神社に参詣した明智光秀と織田信忠」、「足利将軍追放後の織田信長」
- 20 「令和元年度新収蔵資料紹介-自然編-」(~3/29)
- 22 けんぱく教室「化石の入ったミニペーパーウエイトをつくらう」
- 23 MMG講座「武家茶道 式正織部流披露-呈茶の実演」
3. 1 MMG講演会「入門美濃源氏土岐一族」※中止
- 1 MMG講座「武家茶道 式正織部流披露-呈茶の実演」※中止
- 7 MMG講演会「沼田藩三万五千石、大名始祖となった土岐明定政-明智光秀と土岐定政は従兄弟だった!?-」※中止
- 7 MMG講座「武家茶道 式正織部流披露-呈茶の実演」※中止
- 15 けんぱく教室「取蔵庫探検-自然史標本の役割を知る-」※中止
- 17 ミニ企画展「錦絵でみる光秀と戦国⑩」(~6/14)

## 4 実施事業の概要

「県民の皆様が岐阜県の自然や歴史・文化に親しみ、誇りをもつことができる博物館」を令和元年度の運営目標として、特別展、企画展、移動展、マイミュージアムギャラリー展示を開催した。特別展のテーマに関わるその道の研究者による講演会など各種講演会・講座、参加体験型の教育普及事業として51回の催し物、学芸員による28回の出前授業・講師派遣など多くの事業を展開した。特に、特別展「剣精霊貫白虹-幕末美濃の剣豪と名刀-」、「岐阜は日本のど真ん中-岐阜県植物誌は語る-」と2本を行い、全国各地から多くの方々に来館いただけた。

### (1) 展示活動

特別企画展、特別展など、下表のとおり実施した。

### (2) 調査研究活動

人文分野では、令和2年度の特別展・連携企画展に関連した県内外資料の調査を行った。自然分野では、県内外資料の調査に加え、百年公園の里山の動植物生態調査(モニタリング1000)、県内植物分布調査、令和2年度古生物分野展示に向けた県内外の資料調査などを行った。

マイ・ミュージアムでは、ポケット学芸員など解説の充

実に向けた条件整備やマイミュージアムギャラリー出展作品の調査研究や出展者の新規開拓を行った。

### (3) 資料収集活動

人文分野では、県内各地で資料の所在調査を実施した。自然分野では、県内外の動植物や古生物、岩石鉱物資料を資料として加えた。

### (4) 教育普及活動

平成28年度から続いている「教員のための博物館の日」を本年度も7月30日(火)から8月1日(木)に3日間開催した。わくわく体験は原則毎月第2、第4日曜日と定期的な開催とし、「組ひもストラップづくり」などの新メニューも追加した。小・中学生の夏休みの自由研究の相談について積極的に広報し、専門の学芸員による解説・指導を行った。

団体等の利用では、学校向けの生活科・社会科・理科の学習プログラムの利用が多かった。「秋みつけ」などの学習プログラムの実施に博物館サポーターの支援を得て、充実した学びを提供した。

博物館サポーターの活動では、116名が登録し、活動内容にあわせて12の活動グループを設け、希望するグループに所属して活動を行った。

## 5 展示活動

展示名	期間	展示内容	入館者数
常設展	年間	人文展示室では、先史時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を展示した。特別展示室または企画展示室においては、特色ある郷土の民俗と美術工芸を部門別、時代別に展示した。自然展示室1では、郷土の自然の概要を系統的に展示した。自然展示室2では、特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示した。	—
企画展 「ひだの地質紀行 一ようこそ自然豊かな飛驒の大地へ」	4/27(土) ～6/23(日)	岐阜県北部の飛驒地方は、国内でも最古級の岩石や日本最古の化石、恐竜の化石などが発見された地域であり、まさに日本列島の骨格となる大地が広がる地域である。北アルプスの山々が連なる豊かな自然は、様々な生物や人々の暮らしに恩恵をもたらしている。当展では、この自然豊かな飛驒地方の大地の姿を当館が所蔵する標本を中心に展示し、飛驒地方のすばらしい大自然を紹介した。	8,686
博物館・図書館連携企画展 「岐阜の山城調査 —フィールドワークの魅力— 【会場：岐阜県図書館】	4/27(土) ～6/19(木)	山中に残る山城跡及び平地の館跡などの城館跡は、地域の歴史を物語る重要な文化財である。岐阜県内に800か所以上も確認されている城館跡は、山城の堀や曲輪、土塁などの施設が地表面で観察できることから、興味があれば誰もが研究者となりうる身近な研究対象といえる。当展では、平成8年度から16年度にわたって岐阜県教育委員会が行った「岐阜県中世城館跡総合調査」などの成果を展示し、山城調査の意義や魅力を紹介した。	5,532



展 示 名	期 間	展 示 内 容	入館者数
博物館・岐阜大学連携企画展 「Historia Universitatis Gifuensis —岐阜大学70年のあゆみ—」 【前期会場：岐阜大学図書館】 【後期会場：岐阜県博物館】	前期： 5/28(火) ～8/23(金) 後期： 9/28(土) ～11/10(日)	創立70周年を迎えた岐阜大学が、これを契機に、キャンパスの各所に点在している歴史的資料・学術資料を適切かつ永続的に保管し活用する「岐阜大学学術アーカイブズ」を設立した。このスタートを記念し、当展では、同大学の歴史と現在を、長年の研究成果として同大学が蓄積してきた資料と解説パネルにより紹介した。さらには、当館の博物館機能全県域展開の一環として、当館が所有する同大学に関わる資料を共に展示し、地域と共に歩む同大学の姿や当館と同大学の共働研究についても紹介した。	前期 60,252  後期 10,277
移動展 「ヒアリがやってくる —外来生物とはなにものか—」 【会場：飛騨高山まちの博物館】	6/29(土) ～8/25(日)	岐阜県は、地域によって気候や地形に大きな差があり、飛騨山脈に生息するライチョウや濃尾平野に特有な淡水魚など、多様な生物が見られる一方、アライグマなどの外来生物がふるさとの生物多様性に大きな影響を与えています。当展では、当館が所蔵する外来生物の剥製等を中心に標本資料を展示し、岐阜県で見られる外来種の現状と、ふるさと岐阜の豊かな自然が抱える問題を紹介した。	10,670
特別展 「剣精霊貫白虹 —幕末美濃の剣豪と名刀—」	7/12(金) ～9/8(日)	幕末動乱期、江戸と京の間に位置する美濃には、水戸天狗党や東山道鎮撫隊、和宮降嫁の往来があり、一党が敵味方に分かれる郡上・凌霄隊や高須四兄弟の悲劇があった。当展では、新選組・近藤勇を斬首した旗本岡田家剣術指南役・横倉喜三次を中心に、幕末美濃の群像を取り上げ、併せて、この時代の名工・源清磨や美濃の御勝山永貞の名刀など、幕末から明治期の新々刀を紹介した。	12,611
令和改元記念事業 特別展 「岐阜は日本のど真ん中 —岐阜県植物誌は語る—」	9/20(金) ～11/17(日)	令和元年の夏、平成時代のおよそ20年の歳月を費やした「岐阜県植物誌」が発刊された。当館所蔵資料を中心におよそ13万点もの植物標本を用いた調査研究が進められ、完成したこの岐阜県植物誌には、種ごとの検索表、全種の分布図、代表的な植物の植物画の紹介があり、全国に誇る質の高い植物誌である。当展では、この岐阜県植物誌に示された植物の分布状況を根拠とし、岐阜が「日本のど真ん中」であることを、新たな岐阜の魅力として紹介した。	12,510
企画展 「岐阜の城館探訪 —城が語る郷土の歴史—」	11/23(土・祝) ～1/26(日)	お城は歴史的出来事の舞台であり、地域の歴史を語る証人である。現在も地域のシンボリックな役割を担っているものも少なくない。岐阜県内には800か所もの城館跡があり、各地で発掘調査も行われている。当展では、県内の特徴的な城館跡の調査成果から、当該地域の歴史を、政治面、経済面、文化面から見直して紹介した。	6,992
博物館・図書館連携企画展 「清流長良川 —鮎を育む自然と文化—」 【会場：岐阜県図書館】	1/18(土) ～2/29(土)	長良川流域における人々の生活、水循環、漁業資源が関連する里川のシステムは、世界にも特殊性があると評価され、平成27年12月に、「清流長良川の鮎（長良川システム）」として、世界農業遺産に登録された。当展では、長良川の多様な自然のあらし、鵜飼などの伝統漁法、水とつながる伝統工芸品を中心に展示し、世界農業遺産に指定された長良川の自然と文化を紹介した。（※新型コロナウイルス感染症の防止対策として、会場である県図書館が閉鎖したため、3/15(日)までの会期を短縮して終了した。）	2,295
マイミュージアムギャラリー	(p21参照)	「久松真一記念館・抱石庵移動展」をはじめ、6回の展示を実施した。	—



# 企画展 ひだの地質紀行 ―ようこそ 自然豊かな飛驒の大地へ―

## 1 開催期間

平成31年4月27日(土)～令和元年6月23日(日)

## 2 主催、後援、協力

主催：岐阜県博物館

後援：岐阜県教育委員会

協力：高山市、飛驒市、下呂市、白川村、神岡鉱業株式会社、東京大学宇宙線研究所、荘川化石調査研究推進委員会、下呂発温泉博物館

## 3 趣旨

岐阜県北部の飛驒地方は、地質学的には国内でも最古級の岩石や日本最古の化石や恐竜化石などが発見された地質体があり、まさに日本列島の骨格となる大地が広がっている地域である。また北アルプスの山々が連なり、その豊かな自然は様々な生物や人々の暮らしに恩恵をもたらしている。

本企画展は、飛驒地方の自然を当館が所蔵する標本を中心に展示し、飛驒地方の自然のすばらしさを再認識するとともに、その中で生活する人々との関わりを知る機会とした。

## 4 展示構成

### (1) 飛驒市エリア～日本の鉱工業を支えた神岡鉱山～

飛驒市エリアの紹介として、神岡鉱山周辺の地質と世界の最先端研究の展示・解説を行った。

#### 【主な展示物】

- ・飛驒帯の岩石、神岡鉱山の鉱物資料
- ・カミオカンデ模型、スーパーカミオカンデ画像資料、KAGRA (カグラ) 資料

### (2) 高山市エリア

#### ～日本最古の化石と日本の屋根「北アルプス」～

高山市エリアの紹介として、日本最古の化石が発見された福地化石産地や天然記念物「山腰コレクション」、北アルプスの自然の展示・解説を行った。

#### 【主な展示物】

- ・県天然記念物「福地化石標本 (山腰コレクション)」
- ・北アルプス (乗鞍岳、焼岳) の火山資料
- ・ライチョウ、高山植物などの動植物標本

### (3) 白川村、高山市荘川町エリア

#### ～岐阜県の恐竜の郷～

白川村、高山市荘川町エリアの紹介として、手取層群の恐竜化石や白亜紀の復元画などの展示・解説を

行った。

#### 【主な展示物】

- ・手取層群の恐竜化石
- ・白亜紀の復元画

### (4) 下呂市エリア

#### ～火山とその恵み～

下呂市エリアの紹介として、現在も生きる火山「御嶽山」やその恵みである温泉に関わる資料の展示・解説を行った。

#### 【主な展示物】

- ・御嶽山、湯ヶ峰の火山資料 (柱状節理、火山岩など)
- ・下呂温泉、濁河温泉、下島温泉、湯屋温泉の温泉資料 (温泉華、温泉スケール、温泉マップ等)

## 5 関連事業

### (1) 講演会「上松博士の超マニアック化石講座

#### ー日本最古の化石コノドントの謎に迫るー

講師：上松佐知子 (筑波大学大学院准教授)

日時：4月28日(日) 13:30～15:00

### (2) けんぱく教室「貝化石発掘・クリーニング体験」

講師：当館学芸員

日時：4月29日(月祝) 10:30～12:00、13:30～15:00

### (3) けんぱく教室「恐竜を造ろう」

講師：徳川広和 (恐竜・古生物復元作家)

日時：5月5日(日・祝) 10:00～12:00

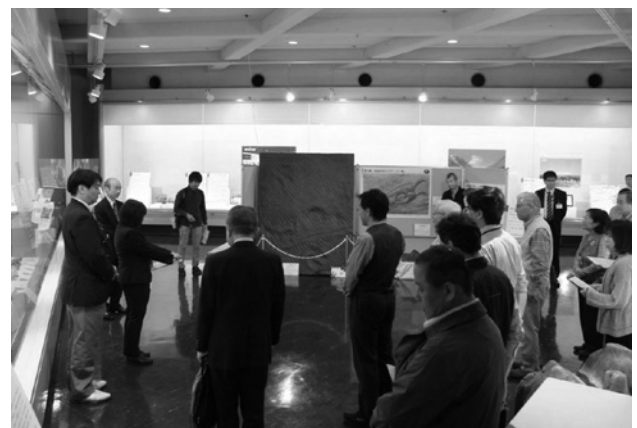
### (4) けんぱく教室「恐竜を組み立てよう」

講師：徳川広和 (恐竜・古生物復元作家)

日時：5月5日(日・祝) 13:30～15:30

### (5) 博物館学芸員によるギャラリートーク

日時：4月29日(月・祝)、5月1日(水・祝)～5日(日・祝)・19日(日)・26日(日)、6月2日(日)・16日(日)・23日(日) 13:30～14:00



展示解説の様子

# 特別展 剣精靈貫白虹 —幕末美濃の剣豪と名刀—

## 1 開催期間

令和元年7月12日(金)～9月8日(日)

## 2 主催、後援、協力

主催：岐阜県博物館、中日新聞社

後援：NHK岐阜放送局、岐阜県教育委員会

協力：公益財団法人霊山顕彰会

## 3 趣旨

幕末をテーマに刀剣と歴史群像を取り上げた特別展。新選組局長近藤勇の処刑人・横倉喜三次(県内関係地：揖斐川)が近藤を斬首した「脇指 銘 二王」(二王清綱)をはじめ、大垣藩を官軍側に導いた小原鉄心(大垣)、新選組・赤報隊に参加した博徒・水野弥太郎(岐阜)、江戸無血開城に奔走した山岡鉄舟(高山)、井上馨の命を救った所郁太郎(大垣・大野)、オランダ留学生・田口俊平(中津川)、新選組の生き証人・島田魁(岐阜・各務原)、勝海舟・土方歳三に伍して箱館戦争まで戦った旗本・竹中重固(垂井)等々、有名無名の志士・勤王家たちを取り上げた。

併せて、幕末の名工・源清麿、美濃出身の清麿門・源正雄、美濃刀工の雄・藤原永貞など、同時代の新々刀の名作を多数展示し、歴史資料とともに幕末維新動乱期の息吹を感じられる展覧会とした。

## 4 展示構成

### (1) 歴史展示

横倉喜三次と近藤勇：美濃の剣豪・横倉喜三次(剣豪・喜三次、近藤勇処刑、相楽総三処刑)

美濃の歴史群像：無名の先覚者たち 導入：幕末の美濃飛驒(梁川星巖、島崎藤村「夜明け前」と市村殷政・間秀矩、江馬修「山の民」と梅村騒動、風刺錦絵で見る幕末史)

往来する擾乱の兆し：幕末の中山道

和宮降嫁、浪士組、天狗党(棚橋天籟、梅村速水)、赤報隊(水野弥太郎、佐藤清臣)

勤王の志士と草莽の微臣

西山謙之助、所郁太郎と長屋丁輔、田口俊平  
江戸城無血開城：山岡鉄舟 人・書・剣

誠忠の行方：攘夷倒幕 小原鉄心と菱田海鷗、大垣藩、尾張藩(正気隊、千村隊)

誠忠の行方：佐幕開国 高須四兄弟、幕臣(竹中重固、加藤平内、永井尚志)、新選組(島田魁、野村利三郎、河合鉄五郎)、凌霜隊と青山藩

剣術のその後：撃剣会



特別展示室での歴史展示

### (2) 刀剣展示

幕末新々刀の名刀：清麿と山浦一門から美濃刀工まで  
源清麿、会津十一代兼定、栗原信秀、源正雄、水心子正秀、固山宗次、泰龍斎宗寛、藤原永貞(御勝山永貞)、藤原兼次、藤原兼忠



企画展示室での刀剣展示

## 5 関連事業

### (1) 講演会「美濃の幕末群像」

講師：あさくらゆう(歴史研究家)

日時：7月20日(土) 13:30～15:00

### (2) 講演会「刀剣鑑賞と博物館展示」

講師：末兼俊彦(京都国立博物館研究員)

日時：8月10日(土) 13:30～15:00

### (3) けんぱく教室「無双直伝英信流 演武」

講師：岩田險陵(全日本居合道連盟範士十段)

日時：8月4日(日) 13:30～14:30

### (4) けんぱく教室「刀匠による銘切実演

—オリジナルキーホルダーを手に入れよう—

講師：関伝日本刀鍛錬技術保存会・刀匠会

(小島兼時刀匠・福留房幸刀匠)

日時：8月16日(金) 10:00～12:00, 13:00～15:00



刀匠による銘切実演

## 1 開催期間

令和元年9月20日(金)～令和元年11月17日(日)

## 2 主催、共催、後援

主催：岐阜県博物館、岐阜新聞社 岐阜放送

共催：岐阜県植物誌調査会

後援：NHK岐阜放送局、岐阜県教育委員会

## 3 趣旨

約70人の岐阜県植物誌調査会員が約20年の歳月を費やし、およそ13万点の植物標本をもとに調査・研究を進め、「岐阜県植物誌」が発刊された。

こうして完成した岐阜県植物誌は、種ごとの検索表、全種の分布図、代表的な植物の植物画及び調査に基づいた岐阜県の特徴的な植物の紹介があり、全国に誇ることのできる質の高い植物誌である。

本特別展では、岐阜県でみられる数多くの植物に目を向け、この岐阜県植物誌を根拠に「岐阜は日本のど真ん中」であることを新たな岐阜の魅力として紹介した。また自然豊かな岐阜県には、興味深い特徴をもつ多様な植物が分布している。例えば、高山植物や東海丘陵要素植物、岐阜の地名が名につく植物、食虫植物などがあり、その分布状況や生態を紹介した。



展示室入口の様子

## 4 展示構成

### (1) プロローグ

岐阜が日本の真ん中であるとする根拠を地理的、歴史的、文化的な視点から紹介した。また魅力的な岐阜の自然を植物の分布をとおして紹介した。

#### 【主な展示物】

人口重心推移図(総務省統計局、国土地理院)、関ヶ原合戦絵図、日本言語地図(国立国語研究所)、岐阜県の気候帯分布と森林植生ジオラマ。

### (2) 岐阜は日本のど真ん中

岐阜県植物誌によって明らかとなった植物の分布状況に基づき、岐阜は日本のど真ん中であることを示した。

#### 【主な展示物】

アカヤシオ[標本]、キヌガサソウ[写真](提供：高橋弘氏)、セキヤノアキチョウジ[線画](画：二村延夫氏) ミノシライトソウとシライトソウ[レプリカ]、オオカニ

コウモリ[レプリカ](ミュージアムパーク茨城県自然博物館) タニウツギ[レプリカ](兵庫県立人と自然の博物館)

### (3) ど真ん中岐阜の植物

岐阜県が誇る自慢の植物たちの分布状況や生態などを紹介した。

#### 【主な展示物】

東濃湿地[レプリカ]、ヒダキセルアザミ[レプリカ]、トウノウネコノメ[レプリカ]、ツルタチツボスミレ[線画](画：井波一雄氏) キヌガサタケ[レプリカ](群馬県立自然史博物館)

### (4) ど真ん中岐阜を語った「岐阜県植物誌」

岐阜県植物誌のあゆみとともに、飯沼愨斎の功績を紹介した。

#### 【主な展示物】

飯沼愨斎肖像写真(早稲田大学図書館)、飯沼愨斎による写生図(個人蔵)、草木図説稿本(個人蔵)。

## 5 関連事業

### (1) 講演会「植物のかたち、その観察」

講師：森田奈菜(三重県総合博物館学芸員)

日時：10月5日(土) 13:30～15:00

### (2) 講演会「岐阜県植物誌から浮かんだ岐阜県を特徴づける植物」

講師：高橋弘(岐阜大学名誉教授・岐阜県植物誌調査会会長)

日時：10月12日(土) 13:30～15:00 ※荒天のため中止

### (3) 講演会「岐阜県植物誌のカバノキ科をどのような視点でまとめたか」

講師：田端英雄(応用里山研究所代表)

日時：10月27日(土) 13:30～15:00

### (4) けんぱく教室「身近な植物を使ってハロウィンの季節飾りをつくろう」

講師：当館学芸員

日時：9月28日(土) 13:30～15:00

### (5) 博物館学芸員によるギャラリートーク

日時：9月22日(日)・29日(日)、10月6日(日)・13日(日)・20日(日)、11月3日(日)・10日(日) 13:30～14:00



展示室の様子

## 1 開催期間

令和元年11月23日(土・祝)～令和2年1月26日(日)

## 2 主催、後援

主催：岐阜県博物館

後援：岐阜県教育委員会

## 3 趣旨

城館跡の調査は様々な方法で行われる。文献や絵図などによる調査、現地に残る曲輪や堀などから城の構造を読み解き縄張調査、そして発掘調査である。本企画展では、城館跡で発掘された考古資料から城の役割、地域の歴史にアプローチした。発掘成果からは、縄張調査などからは見えてこないさまざまな面について情報を得ることができることを示した。

お城ブームや美濃を舞台とする大河ドラマの影響、記録的な暖冬などもあり、前年同時期の企画展より2,000人ほど多い6,992名の来館者があった。

## 4 展示構成

### (1) 出土品が語る政治的なこと

お城は戦いの場であっただけでなく、友好の場でもあった。戦国時代の武将たちにとって、他の武将や有力者と友好的な関係を築くことは、政治的に極めて重要なことであった。下呂市桜洞城跡からは、中国製の青磁・白磁などが数多く出土している。これらは、城に招いた客人たちをもてなすために用いられたものである。また、自分が地域の統治者であるという象徴的な意味を城に与える武将もあった。

#### 【主な展示物】

- ・下呂市桜洞城跡出土青磁・白磁・天目茶碗ほか
- ・池田町本郷城跡出土瓦・犬形土製品ほか
- ・可児市美濃金山城跡出土桐紋の軒平瓦・茶入れほか

### (2) 出土品が語る経済的なこと

出土品により、領主と産業の関わりや、流通の変化がとらえられることがある。土岐市妻木城跡や御殿跡からは窯道具や焼き損じの器などが出土しており、領主や家臣団が陶器の単なる消費者ではなく、陶器の生産・流通等にも関わっていたことがうかがわれる。また、出土資料から、流通の社会的変遷や、城主のネットワークなどについてうかがえることを示した。

#### 【主な展示物】

- ・土岐市妻木城跡出土匣鉢・志野皿・鉄釉瓦ほか
- ・岐阜市加納城跡出土織部向付・金箔土師皿・肥前大

皿ほか

- ・郡上市東氏館跡出土梅瓶・茶壺・石鍋破片・へそ皿ほか

### (3) 出土品が語る暮らしや文化

高山市三枝城跡の発掘調査では、尾根筋で弥生時代の墓穴が見つかり、山麓では古代の山林寺院跡も見つかった。三枝城は、古来より地域の聖地とされていた山に築かれていたということが明らかになり、城が地域の人たちにとって大切な存在であったことを示した。飛騨市江馬氏城館跡では、京都の寺院で見られるモチーフによる庭園や、貴族らが重視した風水による地鎮祭の跡が見つかっており、京都文化の影響を強く感じることができることを示した。

#### 【主な展示物】

- ・高山市三枝城跡出土飛礫・弥生土器(壺)・須恵器ほか
- ・飛騨市江馬氏城館跡・下館跡出土地鎮具(墨書土師皿)ほか
- ・大垣市曾根城跡出土漆塗りの椀ほか

### (4) 城館跡概要図(展示室中央)

今回紹介した城館跡、関連する山城9か所の概要図をパネル化し、掲示した。

ほかに、石鍋の素材となった滑石の触察コーナーや、今回紹介した遺跡の発掘調査報告書を会場で確認できるよう閲覧コーナーを設けた。

## 5 関連事業

### (1) 講演会「織田政権と東美濃・飛騨の山城」

講師：加藤理文(公益財団法人日本城郭協会理事)

日時：12月15日(日) 13:30～15:00

### (2) けんぱく教室

#### 「学芸員と見学する篠脇城の山城遺構」

講師：当館学芸員

日時：11月24日(日) 13:00～15:00 ※中止

### (3) 博物館学芸員によるギャラリートーク

日時：11月24日(日)、12月1日(日)、令和2年1月5日(日)・12日(日)・19日(日) 13:30～14:00



ギャラリートークの様子



## 1 開催期間

平成31年4月27日(土)～令和元年6月19日(水)

## 2 主催、共催、後援

主催：岐阜県博物館

共催：岐阜県図書館

後援：岐阜県教育委員会

## 3 趣旨

山中に残る山城跡及び平地の城館跡などの中世城館跡は、地域の歴史を物語る重要な文化財である。特に信長以前の山城は、戦略的な意味合いが強く、山城を調査することによって当時の緊張関係を読み解くことができる。

山城は発掘調査によらずとも遺構を地表面で観察することができ、破壊することなく調査・検証することが可能であり、誰もが研究することが可能である。また、県内には800か所以上の城館跡が確認されており、身近な研究対象でもある。平成8年度から16年度にわたって岐阜県教育委員会が行った「岐阜県中世城館跡総合調査」などの成果を紹介しながら、山城調査、特に現地において城の構造を読み解き図に示す「縄張調査」の意義や魅力を紹介した。岐阜県の中世城館研究のすそ野を広げる契機とすることを目指した。



展示風景(山城の概要図ほか)

## 4 展示構成

### (1) 城館調査に至る準備

岐阜県中世城館跡総合調査で作成した文献資料データや関連地名一覧表を展示し、城跡がありそうな場所の目星を付けるべく調査の準備方法等について紹介した。

### (2) 縄張図の書き方

地形図やコンパス、フィールドでの作業に適した用紙など縄張図作成に必要な道具を紹介するとともに、簡易距離測定器や歩測による距離の測定を体験できるコーナーを設けた。

### (3) 城館調査の歴史

近世の城館図、近代の城館図、現代の城館図の比較から、城館跡研究の視点が変遷した様子を紹介した。

### (4) 岐阜県内の中世城館の概要

県内の主な城館跡24か所について概要図をパネル化して展示した。概要図を見慣れない来場者にも城の構造を理解しやすいよう、曲輪、切岸、堀を色分けして示した。

### (5) 山城の魅力

岐阜の宝もの「東美濃の山城」(恵那市岩村城跡、中津川市苗木城跡、可児市美濃金山城跡)や関ヶ原古戦場跡(関ヶ原町)など郷土の戦国時代の魅力を発信する取り組みを紹介した。

織田信長関連の山城等を研究し、公益財団法人日本城郭研究会のコンテストにおいて8年連続入賞を果たした生徒の作品(壁新聞・ジオラマ)を紹介した。

## 5 関連事業

### (1) 講演会

#### 「山城調査の楽しみ ―岐阜県の城を中心に―

講師：石川浩治(岐阜県中世城館跡総合調査調査員)

日時：6月1日(日) 13:30～15:00

会場：岐阜県図書館

### (2) ワークショップ「甲冑を学ぼう」

講師：鵜飼裕紀(岐阜県関ヶ原古戦場整備推進課・前岩崎城歴史記念館学芸員)

日時：6月9日(日) 14:00～15:30

会場：岐阜県図書館

### (3) 博物館学芸員によるギャラリートーク

日時：4月28日(日) 13:30～14:00

会場：岐阜県図書館



講演会の様子

## 1 開催期間

令和元年5月28日(火)～8月23日(金) (岐阜大学会場)

令和元年9月28日(土)～11月10日(日) (博物館会場)

## 2 主催、共催、後援

主催：岐阜県博物館

共催：岐阜大学

後援：岐阜県博物館協会

## 3 趣旨

県内唯一の国立大学である岐阜大学は、建学以来、長年の研究の中で得てきた数々の学術的に重要な資料を有している。これらの資料は、学術的に重要な資料であるとともに、岐阜大学を語るうえで歴史(博物学)的な価値も大きい。また、当館は、これまで岐阜大学の研究者とともに、特に自然分野について連携し、調査・研究を進めている。

今回の岐阜県博物館・岐阜大学連携企画展は、岐阜大学創立70周年記念岐阜大学学術アーカイブズのスタート記念として、岐阜大学がその歴史と現在の姿を、パネル及び岐阜大学が長年研究の成果として蓄積した資料で紹介する。さらには、当館の全県展開の一環として、当館の所蔵する岐阜大学に関わる資料を共に紹介することで岐阜大学の歩み、岐阜県に根差した大学の姿、そして当館と岐阜大学の関わりを広く県民に紹介する機会とした。

## 4 展示構成

### 【岐阜大学会場】

#### (1) 岐阜大学の沿革

岐阜大学の歴史についてパネル等で紹介をした。

#### (2) 学部、センターおよび機構等の紹介

教育学部、地域科学部、医学部、工学部、応用生物科学部をパネルにて紹介した。

#### (3) 岐阜大学の今 ～知の拠点としての岐阜大学～

岐阜大学が知の拠点としての整備をどのように行ってきたかをパネルにて紹介した。

#### (4) 岐阜大学の歴史

岐阜大学の発足から現在までの歴史をパネルにて紹介した。

#### (5) 博物館所蔵「岐阜大学お宝標本」

当館の開館を機に、岐阜大学から寄贈された標本の「お里帰り展示」を行った。

##### 【主な展示物】

- ・ネコの内分泌管、ウシの眼球標本等 (学芸部寄贈標本)
- ・カエルの発育順序模型、せきつい動物脳模型 (農学部)

##### 【博物館会場】

#### (1) 岐阜大学の沿革等の紹介

岐阜大学の歴史・遠隔等をパネルで紹介をした。

#### (2) 教育学部の紹介

教育学部の歴史をパネルで紹介するとともに、教育学部に関わる資料の展示・解説を行った。

##### 【主な展示物】

- ・ネコの内分泌管、ウシの眼球等の実物標本
- ・百万塔 (目録)

#### (3) 工学部の紹介

工学部の歴史をパネルで紹介するとともに、工学部所蔵の資料の展示・解説を行った。

##### 【主な展示物】

- ・ラジオアイソトープ用計算尺
- ・アモルファスシリコン
- ・アフリカ大地溝帯岩石標本

#### (4) 地域科学部の紹介

地域科学部の歴史をパネルで紹介した。

#### (5) 医学部の紹介

医学部の歴史をパネルで紹介するとともに、医学部所蔵の資料の展示・解説を行った。

##### 【主な展示物】

- ・人体解剖図 (掛図)

#### (6) 応用生物科学部の紹介

応用生物科学部の歴史をパネルで紹介するとともに、応用生物科学部に関わる標本や資料の展示・解説を行った。

お宝標本の展示・解説を行った。

##### 【主な展示物】

- ・獣医学科授業教科書
- ・カエルの発育順序模型、せきつい動物脳模型



展示会場の様子

# 移動展 ヒアリがやってくるー外来生物とはなにものかー

## 1 開催期間

令和元年6月29日(土)～8月25日(日)

## 2 主催、共催、後援

主催：岐阜県博物館

共催：高山市教育委員会

後援：岐阜県教育委員会

## 3 趣旨

岐阜県は、地域によって気候や地形に大きな差があり、飛騨山脈に生息するライチョウや濃尾平野に特有な淡水魚など、多様な生物が見られる。その一方で、アライグマなどの外来生物がふるさとの生物多様性に大きな影響を与えている。また、近年、有毒なアカカミアリやセアカゴケモの侵入が報道されるなど、外来生物への関心が高まっている。

今回の移動展は、当館が行う博物館機能全県域展開の一環として行う展示として、夏休み中に開催し、当館が所蔵する外来生物の剥製等を中心に標本資料を展示することで、家族そろって、岐阜県に侵入した外来種の現状を知り、ふるさとの豊かな自然が抱える問題を考える機会とした。

## 4 展示構成

### (1) 外来生物とはなにものか

岐阜県内で確認されている外来生物を中心に展示し、これらが自然環境やわれわれの生活に与える影響を紹介した。

#### ① 外来生物とはなにものか

- ・農作物と家畜(イネ、ブタ、ウシ、イヌ、ニワトリ)
- ・人とともに(クマネズミ、ドブネズミ、ハツカネズミ)
- ・毛皮とハンティング(ニホンジカ、タヌキ)
- ・故郷を懐かしむ(ホシムクドリ、メジロ、ウグイス)
- ・誤算(ファイリマンダース、アマミノクロウサギ)



展示風景1

#### ② 身近な外来生物

- ・植物(オオイヌノフグリ、オオキンケイギクなど)
- ・動物(アライグマ、ヌートリア、ハクビシン、オオクチバス、ナイルティラピアなど)

#### ③ 日本から海外へ

- ・植物(クズ、イタドリ、スイカズラ、ワカメ)
- ・動物(マメコガネ)

### (2) 外来種をめぐる最近の動き

グローバルな物流を利用し、世界へ広がる生物や国内外来種などを展示し、外来種をめぐる最近の動向を紹介した。

#### ① 野生化するペット

- ・ノネコ、アトラスオオカブト、カミツキガメ

#### ② 国内外来種の衝撃

- ・西日本産の淡水魚(オヤニラミ、ビワヒガイなど)

#### ③ 意図せぬ侵入

- ・コンテナ(ヒアリ、アカカミアリ、アルゼンチンアリ、スインホーキノボリトカゲ)
- ・中国製竹箒(タイワンタケクマバチなど)
- ・園芸(ムシヤクロツバメシジミ)

#### ④ 外来種に頼る絶滅危惧種

- ・ツマグロキチョウとアレチケツメイ



展示風景2

## 5 関連事業

### (1) けんぱく教室

#### 「剥製にさわって学ぶ アライグマの秘密」

講師：当館学芸員

日時：7月7日(日) 11:00～12:00、14:00～15:00

会場：飛騨高山まちの博物館

### (2) けんぱく教室「鹿角ストラップをつくろう」

講師：当館学芸員

日時：8月10日(土) 11:00～12:00、14:00～15:00

会場：飛騨高山まちの博物館



## 1 開催期間

令和2年1月18日(土)～2月29日(土)

※新型コロナウイルス感染症の防止対策として、会場が休館したため、3/15(日)までの会期を短縮

## 2 主催、共催、後援、協力

主催：岐阜県博物館

共催：岐阜県図書館

後援：岐阜県教育委員会

協力：岐阜県農政部里川振興課

## 3 趣旨

世界農業遺産 (GIAHS) とは、社会や環境に適応しながら何世紀にもわたり発達し、形づくられてきた農業上の土地利用、伝統的な農業とそれに関わって育まれた文化、景観、生物多様性に富んだ世界的に重要な地域を次世代へ継承することを目的に国際連合食糧農業機関 (FAO) が創設した制度である。岐阜県では、長良川流域における、人の生活、水循環、漁業資源が連携する里川のシステムについて、世界にも特殊性があると評価され、平成27年12月に「清流長良川の鮎」として、世界農業遺産に登録された。

本企画展では、長良川の多様な自然のあらし、鵜飼などの伝統漁法、水とつながる伝統工芸品を中心に展示することで、流域の自然と文化を紹介し、世界農業遺産「清流長良川の鮎(長良川システム)」の認知度の向上を図った。

## 4 展示構成

### (1) 世界農業遺産とは

世界農業遺産の概要をパネル等で紹介した。

### (2) 長良川の鮎

長良川が育んだ鮎に関わる伝統漁法や食文化を紹介した。

- ・アユの一生：アユ、リュウキュウアユ、はみあとなど
- ・鵜飼と伝統漁法：ウミウ、鵜籠、鮎料理レプリカなど

### (3) 水とつながる伝統工芸

美濃和紙を使った伝統工芸品を紹介した。

- ・本美濃紙、岐阜提灯、岐阜和傘、岐阜団扇

### (4) 長良川の自然

長良川の自然のあらしを流域に分けて紹介した。

- ・上流：カワネズミ、イワナなど
- ・中流：オオサンショウウオ、ネコギギなど
- ・下流：越冬するカモ類

- ・ため池や水路：ウシモツゴ、ハリヨなど

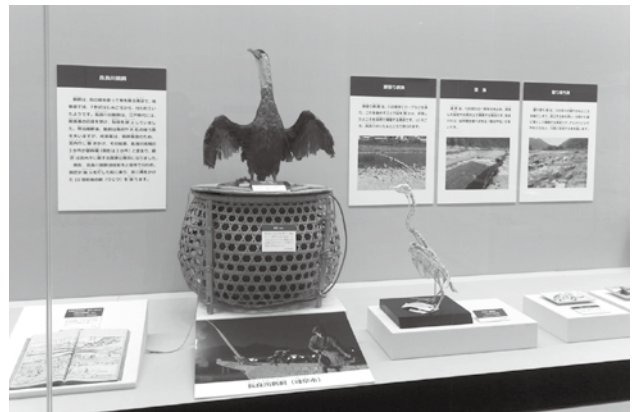
### (5) 長良川の未来を考える

清流長良川が直面するさまざまな問題を紹介した。

- ・河川ゴミ：釣り糸が絡まったカワウ
- ・外来種：オヤニラミ、西日本の遺伝子が混入した淡水魚



展示風景1



展示風景2

## 5 関連事業

### (1) 講演会「ぼくが川漁師になったわけ」

講師：平工顕太郎 (川漁師)

日時：令和2年2月2日(土) 13:30～15:30

会場：岐阜県図書館

### (2) 川のお魚ワークショップ

—川の生きものの秘密(ひみつ)—

講師：河合敏雅・松本万尋 (アクア・トト ぎふ学芸員)

日時：令和2年2月16日(日) 13:00～15:30

会場：岐阜県図書館

### (3) 博物館学芸員によるギャラリートーク

日時：令和2年1月18日(土)、3月15日(日) ※3/15中止

13:30～14:00

会場：岐阜県図書館



## マイミュージアムギャラリー

### 1 展示内容

	展示会	展示内容	
1	<p>《久松真一記念館・抱石庵移動展》 「知の巨人」久松真一 『禪と芸術』の世界 出展者 久松真一記念館(抱石庵) 平成31年4月20日(土) ～令和元年5月19日(日) 来場者数:2,424人</p>	<p>岐阜県を代表する哲学者で、茶人でもある久松真一氏を紹介する記念館「久松真一記念館・抱石庵(国登録有形文化財)」の移動展。久松真一氏の遺墨、遺愛の茶碗のほか、同氏が収集した白隠や西田幾多郎の書画、同氏と交流があったハイデッカーや湯川秀樹、柳宗悦、イサムノグチらの書簡など約60点を展示。</p>	
2	<p>美濃縞展 —江戸時代に想いをつなぐ 手紡ぎ手織りの縞木綿— 出展者 美濃縞伝承会 令和元年6月22日(土) ～7月21日(日) 来場者数:2,782人</p>	<p>美濃縞伝承会の会員が制作した反物や着物、手で紡ぎ植物で染めた糸や使用した植物、制作工程で使用する道具類など約90点を展示。あわせて伝承会活動の一端も紹介。また、糸紡ぎや綿織り、綿打ちの実演、機織りの実技体験を実施。</p>	
3	<p>鉄道模型で見る 昭和から平成、そして令和へ 出展者 岐阜鉄道模型クラブ 令和元年8月3日(土) ～9月1日(日) 来場者数:7,245人</p>	<p>岐阜鉄道模型クラブのクラブ員が所有する車両(HOゲージ縮尺1/80)約250点を展示し、国鉄や名鉄、近鉄など東海地方の路線を中心に使用された鉄道車両の移り変わりを紹介。また、クラブ員のレイアウトによる鉄道模型の運転も実施。</p>	
4	<p>☆時の輝き☆ からくり・おもしろ古時計展 Part2 出展者 下村洋一(下呂市) 令和元年9月14日(土) ～10月20日(日) 来場者数:6,027人</p>	<p>下呂市在住の下村洋一氏が、46年間にわたって蒐集した掛時計、置時計、懐中時計など約1,500点の中から、ユニークな動きをするからくり時計を中心に約500点を展示。一部展示品については、実際に動かした状態での展示。</p>	
5	<p>関藩主大嶋雲八と現代甲冑展 出展者 関市甲冑製作同好会 美濃国関孫六隊 令和元年11月2日(土) ～12月22日(日) 来場者数:6,855人</p>	<p>関市甲冑製作同好会の会員が、戦国時代に使用された実践向きの甲冑をできる限り忠実に再現した作品約25点を展示。あわせて使用した道具と製作工程を紹介。また、甲冑の時代に活躍した関の戦国武将大嶋雲八に関連した資料5点も展示。</p>	
6	<p>美濃源氏土岐一族と明智光秀 出展者 美濃源氏フォーラム 令和2年1月4日(土) ～3月8日(日) 来場者数:8,599人</p>	<p>大河ドラマ「麒麟がくる」にあわせて、岐阜県内を中心に土岐一族ゆかりの寺社や個人が所蔵する掛軸、位牌、系図など約60点を展示し、美濃源氏フォーラムのこれまでの調査研究の成果を紹介。また、沼田藩土岐氏に伝えられた古文書や大名道具を里帰り展示したほか、土岐氏ゆかりの明智光秀についても紹介。</p>	 <p style="font-size: small;">土岐氏肖像 (画像提供:土岐三氏氏)</p> <p style="font-size: small;">明智光秀肖像 (画像提供:本徳寺)</p>

## 2 出展者による催し物等の開催

観覧者と出展者、あるいは観覧者同士の情報交流やふれあいの場として、また体験を通して展示内容についての理解を深めてもらうために、展示期間中には出展者が主催者となった催し物やギャラリートークを開催した。

### (1) 第1回展示「久松真一記念館・抱石庵移動展」

- けんぱく教室「哲学と禅と茶を体感する半日旅行」

講師：久松定昭（久松真一記念館館長）

日時：平成31年4月13日(土) 13:30～14:30

会場：久松真一記念館・抱石庵

### (2) 第5回展示「関藩主大嶋雲八と現代甲冑展」

- けんぱく教室「小笠原流弓の演示」

日時：令和元年11月3日(日・祝) 14:30～15:00

講師：兼松邦夫（弓馬術礼法小笠原流岐阜県同門会会長）

会場：ピロティ



小笠原流弓の演示



クラビノーバの演奏と弾き語り

- 講演会「大嶋雲八の生涯と活躍」

クラビノーバの演奏と弾き語り

日時：令和元年11月17日(日) 13:30～15:00

講師：後藤正敏（大嶋雲八研究会主宰）

演奏・弾き語り：大嶋樹美江（音楽家・大嶋光政子孫）

会場：けんぱくホール

- 講演会「織田信長と甲冑」

日時：令和元年12月8日(日) 13:30～15:00

講師：熱田伸道（甲冑師）

会場：けんぱくホール

### (3) 第6回展示「美濃源氏土岐一族と明智光秀」

- 講演会「愛宕神社に参詣した明智光秀と織田信忠」

日時：令和2年2月16日(日) 13:30～14:30

講師：土山公仁（愛知淑徳大学非常勤講師）

- 講演会「足利將軍追放後の織田信長政権」

日時：令和2年2月16日(日) 14:45～16:15

講師：谷口研語（元法政大学兼任講師）

会場：けんぱくホール

美濃源氏フォーラムが主催の武家文化歴史回廊講座・土岐源氏明智光秀歴史講座（全6回）の第6回目として実施した。大河ドラマ「麒麟がくる」の放映中で、参加者の関心も高く129名の参加があった。

なお、3月1日(日)の講演会「入門!美濃源氏土岐一族」(講師：井澤康樹・美濃源氏フォーラム理事長)と3月7

日(土)の講演会「沼田藩三万五千石、大名始祖となった土岐明智定政 -明智光秀と土岐定政は従兄弟だった!?-」(講師：小野瀬和男・沼田市文化財調査委員)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になった。

これらの講演会・講座の他にも展示期間中には、出展者による実演、体験会が行われた。

### (1) 第2回展示「美濃編展 -江戸時代に想いをつなぐ手紡ぎ 手織りの縞木綿-」

- 綿繰り、弓打ち、よりこ作り、糸紡ぎの実演、機織りの実技を6月23日(日)・30日(日)、7月20日(土)に実施。



### (2) 第3回展示

「鉄道模型で見る昭和、平成、そして令和へ」

- HOゲージ鉄道模型の運転会を随時実施。

### (3) 第4回展示「☆時の輝き☆からくり・おもしろ古時計展 Part2」

- 展示解説とともにからくり時計の実演を披露。

### (4) 第5回展示「関藩主大嶋雲八と現代甲冑展」

- 甲冑試着体験を11月3日(日・祝)・10日(日)・23日(土・祝)、12月1日(日)に実施。

- ペーパークラフトによる子ども兜づくりを随時実施



### (5) 第6回展示「美濃源氏一族と明智光秀」

- 式正織部流太閤点前の披露を1月12日(日)・19日(日)・26日(日)、2月2日(日)・9日(日)・23日(日)に実施。なお、3月1日(日)・7日(土)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になった。



## 6 調査研究活動

### 〔調査研究〕

#### (1) 人文部門

##### ① 考古分野

###### ア 展示にかかわる調査研究

博物館・図書館連携企画展「岐阜の山城調査－フィールドワークの魅力－」、企画展「岐阜の城館探訪－城が語る郷土の歴史－」の開催に向け、調査研究を行った。同一年度中に中世城館跡を扱う企画が2本重なることから、展示内容の差別化をいかに図るかが課題であった。「岐阜の山城調査」では縄張調査を、「岐阜の城館探訪」では発掘調査を扱うこととし、アプローチ方法により描かれる城の姿が大きく異なることを示すことができた。

「岐阜の山城調査」については、平成9年度から16年度にかけて岐阜県教育委員会が行った「岐阜県中世城館跡総合調査」の資料の所在を探索し、確認した。「岐阜県中世城館跡総合調査報告書」刊行に至るまでに蓄積された膨大な資料やデータを見直し、展示することができた。

「岐阜の城館探訪」では、県や市町村が実施した城館跡の調査成果について調査した。

来年度の企画展「岐阜の縄文1800遺跡」に向け、縄文時代研究の動向、成果について調査を継続して行っている。

##### ② 歴史分野

###### ア 展示にかかわる調査研究など

令和2年度特別展（歴史分野担当）にむけて、調査研究を行った。

ミニ企画展「改元－新元号「令和」と「養老」－」、「錦絵でみる光秀と戦国」、「『日本書紀』に記された美濃・飛騨」、けんぱく・養老町連携企画展示「飛瀑怪巖の養老公園－絵図から見た養老公園の変遷－」、けんぱく・関市連携企画展示「関市の文化財－埋蔵文化財・仏教美術－」にむけて、資料調査等を行った。

翌年度以降の展示に向けて関連資料の調査を行い、今後の調査研究及び展示の方向性を検討した。

##### ③ 民俗分野

###### ア 特別展等にかかわる調査研究

特別展「剣精霊貫白虹－幕末美濃の剣豪と名刀－」を実施した。2015年以來の刀剣ブームは未だ継続中であり、当館では2018年から継続している刀剣関連展である。今回は、数年前に寄贈を受けていた新選組・近藤勇の斬首人である横倉喜三次資料を中心に郷土の幕末群像と新々刀の名刀を展示した。幕末史研究で実績のあるあさくらゆう氏、刀剣女子に人気の高い末兼俊彦氏の講演には多くの来場があった。

次年度は当館蔵の赤羽刀の棚卸を兼ねて、県図書館連携企画展示で披露の予定であり、準備を進めている。

###### イ 常設展示にかかわる調査研究

(ア) 昭和の居間コーナー

ジオラマ内の季節ごとの展示替えに加え、展示ケース内でテレビアニメ放映40周年となる「機動戦士ガンダム」(1979～)、2021年の東京オリンピック・パラリンピック大会開催を控え、前回東京大会(1970)のグラビア誌、記念絵はがき、

公式グッズ等を展示した。

(イ) 所蔵品展示

関市との連携企画として、県博物館協会もの部会による2018年7月豪雨で被災した水写真の文化財レスキューについてミニ展示を実施した。

また、羽栗郡本郷村・花村家より伝世資料の保管について相談を受けており、現状確認し、当館における紹介展示を検討している。

(ウ) 旧徳山村民家(旧宮川家住宅)整備

昨年11月の国登録有形文化財(建造物)登録を受けて、国庫補助を活用し、今年度より保存活用計画の策定を開始した。旧宮川家住宅保存活用検討委員会を設置し、今年度3回、次年度3回の会議で保存活用計画について協議、2020年12月に刊行予定である。

###### ウ 原著論文等

南本有紀2020「近藤勇と横倉喜三次」『維新の道』176号、霊山顕彰会

##### ④ 美術工芸分野

###### ア 博物館・図書館連携企画展にかかわる調査研究

博物館・図書館連携企画展「オリンピックの歴史とデザイン」の開催に向けて作品等の調査研究をおこなった。過去のオリンピックについて、特にデザイン的な側面からアプローチすべく調査を実施。幻となった1940年の東京大会、前回の1964年東京大会について複数の成果を得た。

###### イ 常設展示にかかわる調査研究

収蔵資料や地域の文化財については常に継続して調査研究をおこなっている。その成果を披露する場の一つとして常設展がある。収蔵資料の魅力を一層引き出すべく、全国的な位置づけや、従来とは異なる視点によって実施した。これらに基づいて常設展のなかにコーナーを設けて実施したテーマ展示は次の通りである。

- ・日本人と茶
- ・鐔の文様あれこれ

#### (2) 自然部門

##### ① 動物分野

###### ア 主な研究テーマ

(ア) 里地里山に生息する動物の生態について

(イ) 戦前の鳥獣採集家及び博物館標本商について

###### イ 原著論文等

説田健一. 2019. 学校標本を産業史の資料として活用するための視点－明治から昭和初期(戦前)までの標本販売業の変遷(特集 学校所蔵標本のこれまでとこれから). 博物館研究54(12): 6-9.

###### ウ 館内サークル活動の企画及び運営

ダチョウ組(動物標本作製サークル)、岐阜の魚研究会、クモ研究会、モニタリングサイト1000里地調査グループ、昆虫標本整理グループの運営

###### エ 他団体との調査活動

(ア) ウシモツゴを守る会(ウシモツゴの生息と保護にかかわる調査. 岐阜県水産研究所、世界淡水魚園すいぞくかん アクア・トト ぎふ、関市、美濃市、NPO法人ふるさと自然再生研究会と共同)



## ② 植物分野

### ア 主な研究テーマ

- (ア) 里地里山に生育する植物の生態について
- (イ) 岐阜県博物館と連携した教師教育プログラムの開発
- (ウ) 所蔵標本データの活用方法の開発

### イ 館内サークル活動の企画及び運営

- (ア) モニタリングサイト1000里地調査（過去10年の調査報告を目的としたミニ企画展の実施）
- (イ) 標本整理及び展示資料作成
- (ウ) タンポポ調査西日本2020に関わる調査活動及び結果分析

### ウ 他団体との調査活動

- (ア) 岐阜県植物誌調査会（県植物誌編纂関係調査、環境省レッドデータ調査）
- (イ) 岐阜県植物研究会（岐阜県内の植物の調査）
- (ウ) 岐阜大学（標本合同調査保管、展示資料開発、連携企画展の実施）
- (エ) パターン把握を通して環境リテラシーを高める現職教員研修プログラムの作成を目指す会、科学研究費、（長良川の上流・中流・下流域の調査）

## ③ 地学分野

### ア 主な研究テーマ

- (ア) タイ国産恐竜足跡化石の足跡学的研究
- (イ) 福島県産恐竜足跡化石の足跡学的研究
- (ウ) 岐阜県における手取層群の脊椎動物化石調査
- (エ) 瑞浪層群の化石調査
- (オ) 長野県における来馬層群化石調査

### イ 原著論文等

石垣忍・高津翔平・真加部智大・能美洋介. 2020. 足跡化石記録手法の発展と3-D技術. 化石研究会会誌 52 (2) : 54-63.

### ウ 館内サークル活動の企画及び運営

- (ア) 百年公園内に埋設された手取層群化石含有層の岩石の調査（ジオグループ）
- (イ) 県内外産化石クリーニング作業（ジオグループ）
- (ウ) 県内の化石産地における化石採集

### エ 他団体との調査活動

- (ア) 筑波大学との共同研究
- (イ) タイ国鉱産資源局地質調査所（DMR: Department of Mineral Resources of Thailand）との共同研究
- (ウ) 福井県立恐竜博物館との共同調査

## (3) マイ・ミュージアム部門

マイ・ミュージアム部門では、マイミュージアムギャラリー展示に係る業務とマイ・ミュージアム業務から構成されている。

マイミュージアムギャラリー展示に係る事業は、マイ・ミュージアム棟2階の展示室にて「岐阜県に在住、在勤及びゆかりのある個人又は団体（法人等）」が長年にわたって、調査・研究・収集されている貴重なコレクションを、広く展示公開する業務である。

また、マイ・ミュージアム業務は、当館収蔵資料のデータベース構築に係る業務として収蔵品をはじめ有形・無形の文化資源等をデジタル化して保存等を行う業務（デジタルアー

カイブ）及び、インターネット公開に係る業務、並びにけんぱくホール活用事業で構成されている。

## ① マイミュージアムギャラリーについて

### ア 運営の概要

生涯学習時代、県民が個人的に調査、収集、研究した資料のコレクションや生涯学習の成果や作品には、大変すばらしいものが多数存在する。こうした背景から、県民独自のコレクションや生涯学習の発表の場として、マイミュージアムギャラリーが開設された。ここでは、県民相互が多様な文化情報の発信・授受を行うなどの多目的な活用も図られている。博物館では一定期間、展示を公開する場の提供と側面支援を行うことで各展示前に定める目標の達成を目指している。

展示計画は、出展申し込みのあった展示内容をもとに、マイミュージアムギャラリー展示計画懇話会の意見を参考にして次年度の展示会が決定される。なお、出展者の募集や出展調査は常時行っている。

今回のマイミュージアムギャラリー展示は、昨年度から試行的に始めた本館展示との連携を継続し、本館とマイ・ミュージアム棟との間に来館者の流動性を高めることができた。

### イ マイミュージアムギャラリー展示計画懇話会の開催

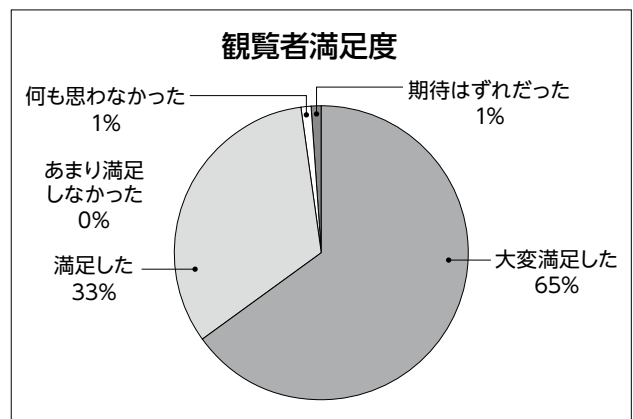
- ・日時 令和元年12月11日(水) 13:30～15:00
- ・場所 マイ・ミュージアム棟3階 けんぱくホール

### ウ 展示記録「マイ・コレクション」（展示紹介チラシ）の発行

展示紹介チラシ「マイ・コレクション」を各回の展示ごとに発行した。これを展示会場内で観覧者に配布するとともに、出展者が自主的に行う広報活動の資料として活用した。令和元年度は平成7年度からの通番で、第179号から第184号までを発行した。チラシ等の配付における来館効果を母平均推定95%確率で統計学的に推定した結果、8.9%から19.5%内でチラシには来館誘導効果があることが分かっており、令和元年度も昨年度と同様に「マイ・コレクション」を関係各所に配布し効果を得た。結果は展示会の平均来館者数は昨年度の中央値（メジアン:Me）を上回る結果となった。

### エ 観覧者、出展者への意識調査の実施と分析

観覧者にマイミュージアムギャラリー展示の満足度調査を行った。展示会終了後には、出展者にも満足度調査を行っている。調査結果については、分析と考察を行い、展示等の改善につなげている。



【図1 観覧者の満足度 (n=519: 令和元年度4月～3月)】

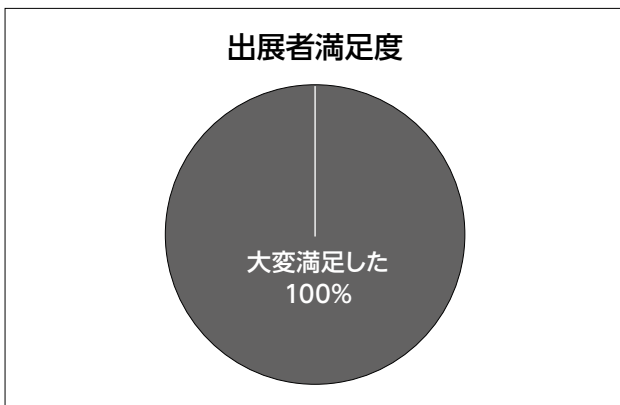
また、図1に示すように観覧者の満足度は高く、展示内容とともに効果的な展示を行えたものと考えている。また、マイ

ミュージアムギャラリーの良さを問う項目では「観覧が無料であること」、「いろいろな作品が見られ、出展者との交流することにより趣味が深められた」に高い満足度を認めることができ、県民相互の文化情報の交流に寄与できたものと考え。

更に、図2から出展者の高い満足度を認めることができる。また、マイミュージアムギャラリーの存在価値を問う項目では、「価値有り」とした回答が多く高評価を得ることができた。

以上の結果から、マイミュージアムギャラリーの運営は、当初の目的を充足したものと見える。しかし、いずれも例年と同様の結果を得たにすぎず、更なる改善が必要であることが明らかとなった。

また、平成24年度に出展者支援及び観覧者の満足度向上のために、作品のキャプションや説明文の記述方法についての研究を行った。その結果を令和元年度も展示会に活かしたところ、読み手の読解方略を体系的で利用しやすいキャプションで示すことができた。こういった研究も含め今後も出展者支援や観覧者の満足度向上に努めたい。



【図2 出展者の満足度 (n=6: 令和元年度)】

### オ 令和2年度の出展申し込み

令和2年度出展候補としての令和元年11月までの申込は8件であった。申込みの内容は、コレクションと作品のバランスもよく、様々な年代の観覧者の興味・関心を喚起されることが期待できるものであった。

また、平成27年度から公共施設が行うマイミュージアムギャラリーへの移動博物館展示や高校生以下の部活動等による成果発表の場によるU-18ミュージアムを実施している。

### カ 令和2年度展示計画及び今後の課題

令和2年度出展候補8件についてマイミュージアムギャラリー展示計画懇話会にて会員から意見を聴き6件の展示を決定した。また、年間をとおしての展示内容のバランスや本館展示との連携を考えて、コレクションを中心とする出展希望の更なる充実を図ることが今後の課題である。

#### 【マイミュージアムギャラリー展示計画懇話会の構成】

氏名	所属等
浅野 裕司	民間有識者
岩井 弘栄	民間有識者
亀谷みゆき	朝日大学法学部法学科准教授
田中 弘志	関市協働推進部文化課課長
土屋 明之	岐阜県芸術文化会議会長
若宮 多門	岐阜県博物館協会会長

(五十音順 敬称略)

## ② マイ・ミュージアムについて

マイ・ミュージアム棟が開設された平成7年頃はマルチメディアが珍しい時代であったが、現在は一般のパソコン上で動画を編集することさえ特別ではなくなり、マルチメディアの普及や啓発を継続する意義は薄れてきた。他方、機器の更新や老朽化した既設機器の維持管理が困難な状況となり、稼働している機器を休止している。

しかし、博物館事業において情報通信機器を活用する必要性が失われた訳ではなく、引き続き、情報化が不可欠な分野における機能低下を最小限に食い止め、制約がある中で情報を最大限発信できるよう、システム等の改善や整備に重点を置いた事業を推進する。

### ア 収蔵資料データベースの運用

当館では、平成21年度末、全国の博物館や美術館でサーバを共有するサービス (SaaS) に当館に収蔵されているデータを移行する作業を実施した。そして平成23年度にサービス提供者と利用契約を結集し、インターネット公開を視野に入れた収蔵資料データベースの本格的な運用を開始した。

また、現物実査の成果をデータベースに登録し、データを精緻化したことで収蔵品を一元管理することが可能となった。備品登録と収蔵資料との整合性も担保された。学芸員間の研究に資する情報源として利用できるよう業務を進めている。その中で、収蔵品の中から研究者や一般の方の利用を想定した収蔵品データベースのホームページを作成し、「Pick Up」として当館学芸員の推薦する資料データを公開している。研究者等にも利用しやすいものとするため、さらなる公開に向けてデータの精緻化を行っている。

さらに、収蔵品データベースシステムの外部公開機能を活用した、展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」の運用を開始した。「ポケット学芸員」は、来館者がスマートフォンを利用して展示解説を閲覧・聴取できるガイドアプリである。常設展示の解説原稿から音声データを作成し公開することで、来館者が音声ガイドを利用することができるようにした。

### イ けんぱくホールの活用

けんぱくホールでは、外部団体の見学や講習会の会場として利用を図るとともに、「博物館学芸講座」と「ミュージアムシアター」を実施した。

#### (ア) 博物館学芸講座について

自然・歴史・文化等に対する知的好奇心を喚起し、文化振興に寄与することを目的に専門的・学術的内容の講演会を実施した。

- 4月28日(日) 上松佐知子(筑波大学准教授)  
「上松博士の超マニアック化石講座-日本最古の化石コノドントの謎に迫る-」
- 5月11日(土) 遠藤慶太(皇學館大学教授)  
「年号のはじまり-古代の改元-」
- 6月1日(土) 荒井朋子(千葉工業大学惑星探査研究センター  
主席研究員)  
「隕石からわかる太陽系の成り立ち」
- 6月30日(日) 小島渉(山口大学大学院創成科学研究科助教)  
「わたしのカプトムシの研究」
- 8月18日(日) 前田晴良(九州大学総合研究博物館教授)  
「アンモナイトの遺骸は浮くか沈むか?  
Did ammonoid carcasses surface or sink?」

- 9月15日(日) 太田浩司(長浜市市民協働部学芸専門監)  
「西軍の関ヶ原」
- 11月23日(土・祝) 杉崎貴英(帝塚山大学准教授)  
「白山信仰のひろがり」と造形文化  
-美濃・飛騨そして越中-
- 1月26日(日) 長村祥知(京都文化博物館学芸員)  
「平安時代後期の京都と美濃源氏」

(イ) ミュージアムシアターについて  
毎週日曜日に岐阜県の歴史や伝統文化を紹介した作品や、恐竜や自然保護等に関する作品など、優れた映像を上映し、青少年以上の年齢の来館者に郷土に対する理解や自然科学への関心を深め、その魅力を再認識いただく機会を提供することを目的に実施した。

## 7 資料収集活動

### (1) 収蔵資料数(令和2年3月31日現在)

#### ① 人文分野

分野	資料数(件)
考古	461
歴史	1,404
民俗	1,649
美術工芸	1,297
合計	4,811

#### ② 自然分野

分野	資料数(件)
動物	40,101
植物	90,642
岩石鉱物	2,136
化石	1,712
合計	134,591

### (2) 令和元年度寄贈資料一覧

#### ① 人文分野

寄贈資料名	件数
関まつり神灯	1

#### ② 自然分野

寄贈資料名	件数
貝類	17
タイリクオオカミ	1
タカチホヘビ	1
化石一式(清水標本)	27
熊石洞産哺乳類化石他一式	7
恐竜復元画(原画)	2
ヴェロキラプトルの頭骨(複製)	1
オヴィラプトルの頭骨(複製)	1
ピナコサウルスの頭骨(複製)	1
植物標本一式	302
植物標本一式	129
植物標本一式	72
植物標本一式	7

### (3) 令和元年度購入資料一覧

#### ① 人文分野

購入資料名	点数
明智光秀肖像画(複製)	1
豊臣家奉行連署状	1
平岩親吉書状	1

#### ② 自然分野

購入資料名	点数
スピノサウルス下顎(複製)	1
スピノサウルスの末節骨(複製)	1
バリオニクスの末節骨(複製)	1
ゾルンホーフェン産鳥類化石(複製)	1
ユタケラトプス頭骨(複製)	1
恐竜足跡産地VR機器	2
タルボサウルス前肢(複製)	1
スピノサウルス復元頭骨	1
ワニ類の頭骨(複製)	1
気候帯ジオラマと植生レプリカ	1
トウノウネコノメのレプリカ	1
ヒダキセルアザミのレプリカ	1
シライトソウとミノシライトソウのレプリカ	1

## 8 教育普及活動

### (1) 教育普及活動

#### ① 催し物開催状況

催し物は、体験・鑑賞型の「けんぱく教室」（子ども・家族向け）、「講演会」（大人向け）、「特別展・企画展講演会」、「マイミュージアムギャラリー展示関連講演会」、「博物館学芸講座」、「博物館学芸講座特別企画」、「三重県総合博物館（MieMu）との交流企画」を、各係が担当して館内、館外において合計51回を実施した。三重県総合博物館（MieMu）との交流企画では、三重県総合博物館からは自然分野、岐阜県博物館からは人文分野の講師を相互に1名ずつ派遣して講演会を開催した。

#### 〈催し物開催状況一覧〉

事業名	期 日	定 員	参 加	内 容	会場（館外）
けんぱく 教 室	4/13	15名	12名	久松真一記念館 哲学と禅と茶を体感する半日旅行	久松真一記念館
	4/14	20名	13名	百年公園で春を見つけよう	百年公園
	4/21	15名	10名	収蔵庫探検－自然史標本の役割を知る－	
	4/29	50名	61名	貝化石発掘・クリーニング体験	
	5/ 2	30名	39名	まが玉をつくろう	
	5/ 3	50名	97名	笛をつくって遊ぼう	
	5/ 4	25名	24名	家族で昆虫標本をつくろう	
	5/ 5	25名	41名	恐竜を造ろう	
	5/ 5	25名	39名	恐竜を組み立てよう	
	6/ 2	20名	24名	縄文ものづくり体験－編布編みをやってみよう－	
	6/23	20名	15名	Such Such Such キャラバン！ in 岐阜県博物館（共催：岐阜県美術館）	
	7/ 7	なし	38名	移動展ワークショップ「剥製にさわって学ぶ アライグマの秘密」	飛騨高山まちの博物館
	7/27	50名	51名	恐竜を描こう	
	8/ 3	50名	91名	恐竜を造ろう	
	8/ 4	60名	66名	無双直伝英信流 演武	
	8/10	80名	25名	移動展ワークショップ「鹿角ストラップをつくろう」	飛騨高山まちの博物館
	8/11	60名	46名	サマーナイトミュージアム	
	8/16	なし	37名	刀匠による銘切り実演－オリジナルキーホルダーを手に入れよう－	
	8/17	15名	9名	収蔵庫探検－自然史標本の役割を知る－	
	8/24	60名	53名	夏休み特別けんぱく教室「恐竜時代の化石発掘体験」	高山市荘川町
	9/21	30名	29名	学芸員と会いに行く横蔵寺の仏像（拝観会）	横蔵寺（揖斐川町）
	9/28	20名	30名	身近な植物を使ってハロウィンの季節飾りをつくろう	
	10/13	60名	53名	オータムナイトミュージアム	
	10/26	20名	13名	百年公園で秋を見つけよう	百年公園
	11/ 3	なし	158名	岐阜ふるさとを学ぶ日（無料開放日）けんぱくワークショップ	
	11/ 3	なし	86名	小笠原流弓の演示	
11/17	20名	16名	和紙のオリジナル年賀はがきをつくろう		
11/24	30名	中止	学芸員と見学する篠脇城の山城遺構	篠脇城（郡上市）	
11/30	50名	59名	徳山のくらし体験 地獄うどんを食べよう	旧徳山村民家周辺	
12/15	15名	14名	収蔵庫探検－自然史標本の役割を知る－		
12/22	60名	56名	クリスマスナイトミュージアム		
1/ 7	なし	100名	ちょっと昔のお正月遊びを体験しよう		
1/ 7	200名	165名	七草粥を食べよう		
2/22	50名	38名	化石の入ったミニペーパーウエイトをつくろう		
3/15	15名	中止	収蔵庫探検－自然史標本の役割を知る－		
講演会	4/28	120名	98名	特別企画「土松博士の超マニアック化石講座－日本最古の化石コノドントの謎に迫る－」	
	5/11	120名	95名	特別企画「年号のはじまり－古代の改元－」	
	6/ 1	300名	237名	連携企画展講演会「山城調査の楽しみ－岐阜県の城を中心に－」	岐阜県図書館
	6/ 1	120名	94名	特別企画「隕石からわかる太陽系の成り立ち」	
	6/30	120名	48名	学芸講座「わたしのカプトムシの研究」	
	7/20	120名	112名	特別展講演会「美濃の幕末群像」	
	8/10	120名	110名	特別展講演会「刀剣鑑賞と博物館展示」	
	8/18	120名	60名	特別企画「アンモナイトの遺骸は浮くか沈むか？ Did ammonoid carcasses surface or sink?」	
	9/15	120名	105名	学芸講座「西軍の関ヶ原」	
	10/ 5	120名	98名	三重県総合博物館交流企画「植物のかたち、その観察」	
	10/12	120名	中止	特別展講演会「岐阜県植物誌から浮かんだ岐阜県を特徴づける植物」	
	10/27	120名	43名	特別展講演会「岐阜県植物誌のカバノキ科をどのような視点でまとめたか」	
	11/17	120名	80名	MMG講演会「大嶋雲八の生涯と活躍」	
	11/23	120名	71名	特別企画「白山信仰のひろがり」と造形文化－美濃・飛騨そして越中－	
	12/ 8	120名	81名	MMG講演会「織田信長と甲冑」	
	12/15	120名	112名	企画展講演会「織田政権と東美濃・飛騨の山城」	
	1/26	120名	117名	学芸講座「平安時代後期の京都と美濃源氏」	
2/ 2	90名	53名	連携企画展講演会「ぼくが川漁師になったわけ」	岐阜県図書館	
2/16	120名	129名	MMG講演会「愛宕神社に参詣した明智光秀と織田信忠」、「足利将軍追放後の織田信長政権」		

けんぱく教室	33回	1,608名
講 演 会	18回	1,743名
館 内 催 し 物	41回	2,819名
館 外 催 し 物	10回	532名
合 計	51回	3,351名



## ② わくわく体験

わくわく体験コーナーは、主に第2、4日曜日午後に開催している。今年度は、24回開催し、1,815人の参加者があった。体験メニューは、「化石取り出し体験」、「化石レプリカづくり」、「万華鏡づくり」、「どんぐり標本箱づくり」「どんぐりフォトフレームづくり」「組紐づくり」を定番とし、期間限定特別メニューとして「化石掘り出し体験」「水晶ジオード割り体験」などを実施した。

### 〈わくわく体験コーナー〉

実施回数	参加人数	実施メニュー
24	1,815	化石取り出し体験、化石レプリカづくり、万華鏡づくり、どんぐり標本箱づくり、組紐づくり、どんぐりフォトフレームづくり、化石掘り出し体験、水晶ジオード割り体験など

## ③ 展示解説

常設展解説は、毎日午前11時と午後2時に解説員により行った。延べ386回、2,171人の参加があった。テーマは「恐竜の話」、「合掌造りの話」、「鶉飼の話」、「輪中の話」、「大昔の人々のくらしの話」、「岐阜の大地の成り立ちの話」があり、毎日日替わりで実施した。特別展・企画展解説（ギャラリートーク）は、各展覧会開催中の日曜日の午後を中心に、担当学芸員が行った。延べ23回、266人の参加があった。それぞれの展示物について、来館者の年代やニーズ等に合わせて分かりやすく解説した。

### 〈展示解説〉

	実施回数	参加人数	内 容
常設展	386	2,171	解説員による常設展示解説
特別展・企画展	23	266	担当学芸員による展示解説（ギャラリートーク）

## ④ 移動博物館・出張けんぱく教室

移動博物館・出張けんぱく教室は、①遠隔地の県民に県博物館の財産（展示・教育普及事業）を享受する機会を提供すること、②来館者を待つことから、資料や体験教室を持って外へ打って出ることへの転換をはかり、博物館への関心を今一度呼び戻す方途とすること、③子どもや若者が多く集う近隣市町村の民間商業施設やイベントにおいても開催することで、主として青少年等の若い世代に当館に対する関心を高めてもらう機会とすることを目的としている。なお「移動博物館」とは、展示資料のうち当館の資料が半分以上で、当館の共催・協力で開催した展覧会と、教育普及的な展示に体験教室を組み合わせた自治体や団体が実施するイベントで、当館が共催・協力により実施するもののことをいう。また、「出張けんぱく教室」とは、博物館以外で実施する催し物で、自治体や団体が実施するイベントにおいて当館が共催・協力により実施するものを含む。

### 〈移動博物館・出張けんぱく教室〉

	実施期間・名称	内 容	開催地	種別	移動博物館 参加人数	出張けんぱく 参加人数
1	4/10～6/26 マーサ de 博物館	展示：～パネルミュージアム～「ひだの地質紀行」	マーサ21	共催	測定不能	
2	4/14 山県市やまがたまごと市	展示：古生物の化石 体験：化石取り出し体験	四国山香りの森公園	協力	測定不能	201
3	4/20 マーサワークショップ	展示：古生物の化石、実演：化石クリーニング 体験：化石取り出し体験	マーサ21	共催	測定不能	155
4	4/27～5/6 木曾川水圏の生き物たち	展示：動物標本	木曾三川公園自然発見館	共催	2,772	
5	5/3～8/7 GIFU マスターシリーズ	展示：クイズラリー「人文領域」	モレラ岐阜	共催	測定不能	
6	5/18・19 スプリング・フェスティバル	展示：古生物の化石 体験：化石レプリカづくり	岐阜県百年公園	協力	測定不能	230
7	5/25 カラフルタウンワークショップ	展示：古生物の化石 体験：化石取り出し体験、組紐ストラップづくり	カラフルタウン岐阜	共催	測定不能	94
8	6/27～9/10 マーサ de 博物館	展示：～パネルミュージアム～「剣精霊貫白虹」	マーサ21	共催	測定不能	
9	8/8～12/31 GIFU マスターシリーズ	展示：クイズラリー「自然領域」	モレラ岐阜	共催	測定不能	
10	8/24 モレラ岐阜ワークショップ	体験：組紐ストラップづくり	モレラ岐阜	共催		51
11	9/11～11/21 マーサ de 博物館	展示：～パネルミュージアム～「岐阜は日本のど真ん中」	マーサ21	共催	測定不能	
12	9/28・29 恐竜ライブペインティング	展示：恐竜復元画、恐竜骨格標本、古生物の化石 体験：化石レプリカづくり、化石取り出し体験、隕石ハンティング	カラフルタウン岐阜	共催	測定不能	433
13	9/29 山県市ふるさと栗まつり 2019	展示：古生物の化石 体験：化石取り出し体験	四国山香りの森公園	協力	測定不能	168



	実施期間・名称	内 容	開催地	種別	移動博物館 参加人数	出張けんぱく 参加人数
14	10/5～10/20 けんぱく恐竜復元画展	展示：恐竜復元画、恐竜骨格標本、古生物の化石	マーゴ	共催	19,570	
15	10/19,20 オータム・フェスティバル	展示：古生物の化石 体験：化石取り出し体験	岐阜県百年公園	協力	測定不能	217
16	11/3 文化の森 秋祭り	展示：古生物の化石 体験：化石レプリカづくり	岐阜県図書館	協力	測定不能	233
17	11/16 ぎふサイエンスフェスティバル	展示：古生物の化石 体験：化石レプリカづくり	岐阜市文化センター	協力	測定不能	254
18	11/22～R2/1/29 マーサ de 博物館	展示：～パネルミュージアム～「岐阜の城館探訪」	マーサ21	共催	測定不能	
19	12/1 SEKI いきいきフェスタ	展示：古生物の化石 体験：化石取り出し体験	関市わかさプラザ	協力	測定不能	64
20	12/14 カラフルタウンワークショップ	展示：古生物の化石 体験：化石レプリカづくり	カラフルタウン岐阜	共催	測定不能	109
21	1/1 GIFU マスターシリーズ	展示：クイズラリー「戦国錦絵編」	モレラ岐阜	共催	測定不能	
22	1/18 ハートフルフェスタ 2020	展示：古生物の化石 体験：化石レプリカづくり	ハートフルスクエア	協力	測定不能	113
23	1/19 マーサワークショップ	展示：古生物の化石、古生物のひみつを探る！ 体験：化石レプリカづくり	マーサ21	共催	測定不能	78
24	1/30～ マーサ de 博物館	展示：～パネルミュージアム～「戦国錦絵」	マーサ21	共催	測定不能	
25	2/15 マーゴワークショップ	展示：古生物の化石 体験：化石レプリカづくり	マーゴ	共催	測定不能	91
					22,342	2,491

## ⑤ 団体利用

団体利用は166団体、9,768人（次表）である。美濃地区、岐阜地区、可茂地区、西濃地区、愛知県北部（一宮市、稲沢市、江南市）の小学校や、博物館近隣の幼稚園・保育園の利用が多い。学習活動では、生活科との関連を図った「秋みつけ」や「どんぐり工作」などの体験活動を、百年公園内の自然も活用して実施した。展示では、自然展示室1・2を活用したワークシートを主に実施した。また、人文展示室や合掌づくりの模型、昭和の居間を活用して、小学校社会科の学習「古い道具と昔の暮らし」に対応した解説も行った。今年度も「秋みつけ」「どんぐり工作」「昔の暮らし体験」などの体験活動において、博物館サポーターの協力を得ながら、活動の準備や片付け、子どもたちへの指導などの支援を行った。

### 〈団体利用〉

月	日	曜	所在地	団体名	対象	人数	活動内容
4	14	日		ぎふ児童合唱団	小～一般	27	自由観覧
4	20	土	岐阜市	キッズステーションあおぞら芥見	小中高生	11	化石レプリカづくり、化石取り出し
4	21	日	関市	岐阜県警察学校	初任科生	110	自由観覧
4	25	木	愛知県一宮市	一宮東特別支援学校	中学部	78	自由観覧
4	26	金	関市	下有知保育園	年 長	30	自由観覧
5	8	水	愛知県犬山市	犬山ニュータウン福寿会	一 般	20	自由観覧
5	9	木	関市	博物館友の会	一 般	20	施設利用
5	12	日	関市	小屋名子ども会	小 学 生	132	展示解説（恐竜）、自由観覧
5	14	火		さくら学級（シニア）	一 般	25	自由観覧
5	16	木	郡上市	岐阜県立郡上特別支援学校	小 中 生	9	自由観覧
5	17	金	岐阜市	岐阜市立芥見東小学校	小 6	61	人文授業、展示セルフガイド
5	21	火	愛知県稲沢市	稲沢市立下津小学校	小 3	181	展示解説（恐竜）、展示セルフガイド、洗濯体験
5	22	水	関市	関市立桜ヶ丘小学校	小 2	72	里山オリエンテーリング
5	23	木	岐阜市	岐阜県教育委員会	教 員	2	施設利用
5	24	金	白川町	白川町立蘇原小学校	小 4	20	展示セルフガイド
5	24	金	愛知県小牧市	小牧市立本庄小学校	小 5	106	展示セルフガイド
5	29	水	愛知県江南市	適応教室 You・輝	小 中 生	10	展示解説（恐竜）、わくわく体験
5	30	木	関市	関市立旭ヶ丘小学校	小 4	54	展示解説（恐竜）、展示セルフガイド
5	30	木	関市	関市立金竜小学校	小 3	140	里山オリエンテーリング
5	30	木		岐阜県小学校社会科研究部会	教 員	63	施設利用
5	31	金	愛知県稲沢市	稲沢市立丸甲小学校	全 学 年	150	展示解説、展示セルフガイド
6	5	水		岐阜県小学校家庭科研究会	教 員	33	施設利用
6	6	木		岐阜県高校教科研公民・地理歴史部会	教 員	95	施設利用
6	9	日	関市	岐阜県博物館協会	一 般	14	施設利用
6	12	水	郡上市	郡上市立高鷲北小学校	全 学 年	69	自由観覧
6	12	水	富山県滑川市	滑川市立博物館友の会	一 般	29	展示解説（企画展・自然）
6	13	木	美濃加茂市	美濃加茂市立蜂屋小学校	小 3	80	里山オリエンテーリング、展示解説（恐竜）、展示セルフガイド
6	14	金	美濃市	美濃ふたば幼稚園	年 長	36	展示解説（恐竜）
6	14	金	愛知県名古屋	名古屋教育文化センター	幼 児	42	展示解説（恐竜）、展示セルフガイド
6	23	日	愛知県北名古屋市	北名古屋市立調原中学校	中 1	140	展示解説（恐竜）、展示セルフガイド

月	日	曜	所在地	団体名	対象	人数	活動内容
6	26	水		岐阜県小中学校英語研究部会	教 員	76	施設利用
7	3	水	関市	岐阜県百年公園事務所	一 般	17	施設利用
7	4	木	御嵩町	組合立共和中学校	中 1	62	人文授業、展示解説(恐竜)、展示セルフガイド
7	5	金	関市	みつばちの家ワークショップハニー	小 学 生	22	自由観覧
7	12	金	愛知県犬山市	犬山市立犬山北小学校	小 5	102	展示解説(恐竜)、特別展解説、展示セルフガイド
7	12	金	岐阜市	サニーサイドインターナショナルスクール	小 学 部	41	展示解説(恐竜)、自由観覧
7	12	金	美濃市	松美保育園	年 長	23	自由観覧
7	12	金	関市	関市立安桜小学校	小 6	89	開場式参加、特別展解説、展示解説(人文)
7	19	金	関市	関保育園	幼 児	36	展示解説(恐竜)、展示セルフガイド
7	20	土	海津市	キッズボンド平田	小 学 生	12	自由観覧
7	23	火	関市	マーゴキッズクラブ	小 学 生	20	展示解説(恐竜)、館内探検、化石取り出し、組紐づくり
7	26	金	笠松町	笠松町夏の親子教室	小 学 生	23	展示解説(恐竜)、展示セルフガイド、化石レプリカづくり、組紐づくり
7	26	金	愛知県北名古屋	甘軒家学童保育所	小中高生	118	展示解説(恐竜)、展示セルフガイド
7	27	土	各務原市	ラルジュ(放課後等デイサービス事業所)	小 学 生	3	自由見学、けんぱく教室(恐竜を造ろう)
7	30	火	各務原市	いきいき楽習課東ライフデザインセンター	小 学 生	20	展示解説、化石レプリカづくり
8	8	木	関市	関市中央公民館(夏の親子教室)	小 学 生	31	化石入りミニペーパーウエイトづくり
8	8	木	美濃加茂市	虹色キラリ(放課後等デイサービス事業所)	小 学 生	17	展示解説(恐竜)、展示セルフガイド
8	10	土	各務原市	ライラック(放課後等デイサービス事業所)	小 学 生	7	展示解説(恐竜)、展示セルフガイド、化石レプリカづくり
8	23	金	各務原市	各務原市少年自然の家	小 学 生	40	展示解説(恐竜)
8	29	木		はじめの一步	一 般	27	自由観覧
8	31	土	愛知県名古屋	名古屋女子大学環境ゼミ4年生	大 学 生	10	施設利用、展示解説(自然)
8	31	土	北方町	虹のみらい(放課後等デイサービス事業所)	小中学生	14	展示解説(恐竜)、自由観覧
9	12	木	関市	関市立下有知小学校	小 3	67	展示解説(恐竜)、展示セルフガイド
9	14	土	本巣市	もとすガキッコクラブ	小中高生	25	展示セルフガイド、化石取り出し
9	16	月	北方町	キッズボンド北方	小中高生	13	展示解説(恐竜)
9	20	金	関市	関市立桜ヶ丘中学校	中 3	145	開場式参加、展示解説(特展・自然)
9	27	金	養老町	養老町立笠郷小学校	小 1	46	展示解説(恐竜)、化石レプリカづくり
9	27	金	郡上市	郡上市立那留小学校	小 学 生	26	秋みつけ、どんぐり標本箱づくり、展示セルフガイド
10	1	火	関市	関市立武儀西小学校	小 1	20	里山オリエンテーリング秋みつけ、展示解説(恐竜)
10	1	火	岐阜市	岐阜市立西部小学校	小 1	136	展示解説(恐竜)、展示セルフガイド
10	3	木	本巣市	本巣市立土貴野小学校	小 1	24	秋みつけ、どんぐり標本箱づくり、展示セルフガイド
10	3	木	神戸町	神戸町立神戸北小学校	小 3	39	展示解説(恐竜)、展示セルフガイド
10	4	金	関市	関市立武芸小学校	小 1、2	37	化石レプリカづくり、どんぐり標本箱づくり
10	4	金	愛知県稲沢市	稲沢市立稲沢東小学校	小 3	108	展示解説(恐竜)、展示セルフガイド
10	4	金	本巣市	本巣市立真桑小学校	小 1	89	自由観覧
10	5	土	高山市	飛騨国府の歴史を学ぶ会	一 般	38	展示解説
10	8	火	関市	関市立上之保小学校	小 1、2	18	展示解説(恐竜)、展示セルフガイド、秋みつけ
10	8	火	関市	関市立博愛小学校	小 1、2	39	展示解説(恐竜)、展示セルフガイド、秋みつけ
10	8	火	岐阜市	岐阜県教育委員会	教 員	113	秋みつけ、展示解説(特展・恐竜)、どんぐり標本箱づくり、展示セルフガイド
10	9	水	関市	関市立富野小学校	小 1、2	33	どんぐり標本箱づくり、展示セルフガイド、秋みつけ
10	9	水	関市	関市立南ヶ丘小学校	小 1、2	39	展示解説(恐竜)、展示セルフガイド、秋みつけ
10	9	水	愛知県一宮市	一宮市立大和西小学校	小 4	94	展示解説(恐竜)、展示セルフガイド、化石レプリカづくり
10	9	水	瑞穂市	瑞穂市立西小学校	小 1	32	秋みつけ、どんぐり標本箱づくり
10	10	木	関市	岐阜県博物館友の会	一 般		施設利用
10	10	木	関市	関市立倉知小学校	小 1	67	秋みつけ、展示解説(恐竜)
10	10	木	関市	関市立武儀東小学校	小 1~3	31	1、2年:秋みつけ、展示解説(恐竜)、展示セルフガイド 3年:里山オリエンテーリング、展示解説(昔の道具・鶴飼)
10	10	木	大野町	大野町立東小学校	小 3	37	展示解説(昔の道具・合掌づくり)、洗濯・アイロン体験
10	11	金	愛知県江南市	江南市立古知野北小学校	小 2	82	展示解説(恐竜)、展示セルフガイド
10	11	金	中津川市	中津川市立落合小学校	小 3	40	展示セルフガイド
10	11	金	関市	関市立富岡小学校	小 1	72	秋みつけ、展示セルフガイド
10	11	金	関市	中部学院大学附属幼稚園	年 長	67	自由観覧
10	16	水	関市	関市立洞戸小学校	小 1、2	36	展示解説(恐竜)、展示セルフガイド、秋みつけ
10	16	水	美濃市	美濃市立藍見小学校	小 2	21	秋みつけ、展示セルフガイド、展示解説(恐竜・MM)
10	17	木	大野町	大野町立大野小学校	小 3	66	洗濯体験、化石レプリカづくり、展示解説(昔の道具)、展示セルフガイド
10	17	木	愛知県一宮市	一宮市立赤見小学校	小 3	44	展示セルフガイド、洗濯体験、秋みつけ
10	18	金	岐阜市	岐阜市立網代小学校	小 1、2	26	展示セルフガイド、展示解説(昆虫)、秋みつけ
10	18	金	関市	関市立田原小学校	小 1	51	秋みつけ、展示解説(恐竜)、展示セルフガイド、どんぐり標本箱づくり
10	18	金	大垣市	大垣市立小野小学校	小 2	146	展示解説(恐竜)、展示セルフガイド、秋みつけ
10	18	金	中津川市	中津川市立坂本小学校	小 4	114	展示セルフガイド
10	20	日	美濃市	森林文化アカデミー連携	一 般	8	自由観覧
10	23	水	関市	関市立瀬尻小学校	小 1	75	秋みつけ、恐竜見学
10	23	水	本巣市	本巣市立一色小学校	小 1	30	里山オリエンテーリング
10	24	木	関市	関市立下有知小学校	小 1	72	秋みつけ、どんぐり標本箱づくり
10	24	木	中津川市	中津川市立坂本中学校	中 1	126	展示解説(恐竜)、展示セルフガイド、化石レプリカづくり
10	25	金	関市	関市立板取小学校	小 1、2	12	秋みつけ、展示解説(恐竜)、展示セルフガイド、化石取り出し
10	25	金	関市	関市立倉知小学校	小 2	61	展示解説(恐竜)、展示セルフガイド
10	25	金	岐阜市	岐阜市立合渡小学校	小 1	55	展示解説(恐竜)、展示セルフガイド、秋みつけ
10	25	金	美濃市	美濃市立中有知小学校	小 1	34	展示解説(恐竜)、展示セルフガイド、秋みつけ、どんぐり標本箱づくり
10	25	金	富加町	組合立双葉中学校特別支援学級	全 学 年	3	自由観覧
10	26	土		第19回社会科課題追及学習展・ 第63回岐阜県児童生徒科学作品展	小~一般	185	作品展観覧

月	日	曜	所在地	団体名	対象	人数	活動内容
10	27	日		第19回社会科課題追及学習展・第63回岐阜県児童生徒科学作品展	小～一般	277	表彰式、作品展観覧
10	29	火	海津市	海津市立東江小学校	小 1	22	展示解説(恐竜)、展示セルフガイド、秋みつけ
10	29	火	富加町	富加町立富加小学校	小 1	60	展示解説(恐竜)、展示セルフガイド、秋みつけ
10	29	火	岐阜市	岐阜市立方県小学校	小 1、2	30	展示解説(恐竜)、展示セルフガイド
10	29	火	岐阜市	岐阜市立城西小学校	小 1	48	秋みつけ、展示セルフガイド
10	30	水	岐阜市	岐阜市立三輪北小学校	小 4	13	展示解説(合掌づくり)、展示セルフガイド
10	30	水	安八町	安八町立名森小学校	小 4	86	展示解説(輪中)、展示セルフガイド
10	30	水	関市	関市立桜ヶ丘小学校	小 1	53	展示解説(恐竜)、秋みつけ
10	30	水	本巣市	本巣市立席田小学校	小 1	56	秋みつけ、展示解説(恐竜)、展示セルフガイド
10	31	木	笠松町	笠松町立松枝小学校	小 2	98	秋みつけ、落ち葉で絵をかく、展示セルフガイド
10	31	木	関市	関市立旭ヶ丘小学校	小 2	66	どんぐり標本箱づくり、展示セルフガイド
10	31	木	笠松町	笠松町立下羽栗小学校	小 1	57	展示解説(恐竜)、展示セルフガイド、秋みつけ
10	31	木	可児市	可児市立東明小学校	小 2	48	展示解説(恐竜)、展示セルフガイド、どんぐり標本箱づくり
11	1	金	可児市	可児市立土田小学校	小 1	98	展示解説(恐竜)、展示セルフガイド
11	1	金	関市	関市立旭ヶ丘小学校	小 1	51	秋みつけ、工作体験、展示セルフガイド
11	1	金	岐阜市	岐阜市立則武小学校	小 1	96	秋みつけ、展示セルフガイド、展示解説(昆虫・恐竜)
11	1	金	岐阜県	岐阜県教育委員会	教 員	5	施設利用
11	2	土	岐阜市	岐阜聖徳学園大学初等生活Ⅱ	大 学 生	6	自由観覧
11	3	日	岐阜市	岐阜聖徳学園大学初等生活Ⅱ	大 学 生	9	自由観覧
11	6	水	関市	関市立金竜小学校	小 1	133	展示解説(恐竜)、展示セルフガイド
11	6	水	岐南町	岐南町立北小学校	小 1	50	秋みつけ、展示解説(恐竜)
11	7	木	関市	関市立安桜小学校	小 2	98	秋みつけ、展示解説(恐竜)、展示セルフガイド
11	7	木	岐南町	岐南町立東小学校	小 1	119	展示解説(恐竜)展示セルフガイド
11	7	木	川辺町	川辺町立東小学校	小 1	22	秋みつけ、展示解説(恐竜)、展示セルフガイド
11	8	金	可児市	可児市立今渡北小学校	小 1	171	展示解説(恐竜・DVD)、展示セルフガイド
11	8	金	七宗町	七宗町立神測小学校	小 1、2	19	展示解説(恐竜)、展示セルフガイド、秋みつけ
11	12	火	関市	関市立瀬尻小学校	小 2	76	展示解説(恐竜・鶴飼・DVD)、展示セルフガイド
11	12	火	岐阜市	岐阜市立日野小学校	小 1	69	展示解説(恐竜)、展示セルフガイド、どんぐり標本箱づくり、秋みつけ
11	12	火		岐阜県小中学校英語研究部会	教 員	80	施設利用
11	13	水	岐阜市	岐阜市立長良東小学校	小 1	127	秋みつけ、どんぐり標本箱づくり、展示セルフガイド
11	13	水	大垣市	大垣視聴覚障害福祉協会	一 般	21	展示解説(恐竜・人文・自然)、自由観覧
11	14	木	海津市	海津市立下多度小学校	小 3	22	展示解説(昔の道具)、展示セルフガイド
11	14	木	笠松町	笠松町立笠松小学校	小 1	41	秋みつけ、展示解説(恐竜)、展示セルフガイド
11	15	金	各務原市	各務原市立中央小学校	小 1	73	秋みつけ、展示解説(恐竜)、展示セルフガイド
11	19	火	岐南町	岐南町立西小学校	小 1	72	秋みつけ、展示解説(恐竜・DVD)、展示セルフガイド
11	19	火	岐阜市	岐阜市立鷺山小学校	小 1	97	秋みつけ、展示解説(恐竜)、化石レプリカづくり、展示セルフガイド
11	20	水	岐阜市	サニーサイドインターナショナルスクール	年 中	67	洗濯・アイロン体験、展示セルフガイド
11	21	木	美濃加茂市	美濃加茂市立加茂野小学校	小 1	132	展示解説(恐竜)、展示セルフガイド
11	22	金	可児市	可児市立旭小学校	小 2	76	秋みつけ、展示解説(カモシカ・恐竜)、展示セルフガイド
11	22	金	各務原市	各務原市立鶴沼第一小学校	小 1	109	展示解説(恐竜)、秋みつけ
11	22	金	羽島市	羽島市立堀津小学校	小 1	26	里山オリエンテーリング
11	24	日	美濃市	岐阜県立森林文化アカデミー連携	一 般	7	自由観覧
11	27	水	関市	関市立金竜小学校	小 3	125	里山オリエンテーリング
11	27	水	関市	岐阜県百年公園運営協議会	一 般	17	施設利用
11	29	金	岐阜市	岐阜市立厚見中学校	中 1	96	展示解説(恐竜)、展示セルフガイド
12	4	水	岐阜市	岐阜県文化伝承課	一 般	95	施設利用
12	7	土	岐阜市	マーサキッズスマイル	小 学 生	22	展示解説(企画展・MM)、化石取り出し、組紐づくり
12	19	木	御嵩町	組合立共和中学校	中 2	62	展示解説(昔の道具)、ふるさと学習
12	19	木	山県市	はなぞの北幼稚園	幼 児	28	展示解説(恐竜)、展示セルフガイド
12	20	金	羽島市	羽島市立竹鼻小学校	小 3	135	展示セルフガイド
12	22	日	美濃市	岐阜県立森林文化アカデミー連携	一 般	13	自由観覧
1	7	火	各務原市	ラルジュ(放課後等デイサービス事業所)	小 学 生	14	自由観覧
1	10	金	本巣市	本巣市立真桑小学校	小 4	109	自由観覧
1	28	火	関市	関市立富野小学校	小 3	24	展示解説(昔の道具・チョウ)、展示セルフガイド、洗濯体験
1	29	水	岐阜市	岐阜市立常磐小学校	小 4	59	展示セルフガイド
1	29	水	大野町	大野町教育委員会(校長会)	教 員	12	展示解説(人文・MM)、自由観覧
2	12	水	関市	関市立桜ヶ丘中学校(分級)	全 学 年	23	自由観覧
2	14	金	岐阜市	岐阜県立長良高等学校	高 1	369	講義(長良川)、展示セルフガイド
2	16	日	滋賀県栗東市	栗東体操クラブ	小 中	34	自由観覧
2	18	火		岐阜県高等学校教育研究会中濃地区	教 員	9	施設利用、展示解説(自然)
2	20	木		岐阜県小学校社会科研究部会	教 員	47	施設利用
2	21	金	関市	虹ヶ丘幼稚園	年 長	79	展示解説(恐竜・DVD) 展示セルフガイド
2	21	金	愛知県一宮市	ラポルトインターナショナルスクール	年 中	25	展示解説(恐竜)
2	23	日	岐阜市	岐阜県関ヶ原古戦場整備推進課	一 般	48	サポーター研修、自由観覧
3	6	金	関市	岐阜県博物館協会	一 般	21	施設利用
3	14	土	関市	岐阜県博物館友の会	一 般	5	施設利用

	団体数	人数
学校団体(幼保含む)	112	7,679
学校以外の団体	54	2,089
合 計	166	9,768

## ⑥ 出前授業・講師派遣

出前授業・講師派遣の実施回数は28回（そのうち小中学校5回）であった。また、講師として招聘されたのは16回あった。招聘先としては各種団体が中心で、職員研修、地域学習、生涯学習の場として、様々な目的に活用されていた。

### 〈出前授業・講師派遣〉

期 日	依頼者（会場）	対象	人数	講 演 内 容
平成31年 4月13日	芥見自治会連合会地頭方支部（地頭方北公民館）	一 般	23	化石取り出し、恐竜の絵、組紐づくり
令和元年 5月23日	岐阜県教育委員会（岐阜県博物館）	教 職 員	1	博物館活用講座
令和元年 5月30日	郡上市立相生小学校	小 4	22	水生生物による環境調査活動
令和元年 7月10日	岐阜県立大垣桜高等学校	高 2	20	岐阜と西濃の地質・化石
令和元年 7月11日	各務原市東ライフデザインセンター	一 般	64	各務原市の地質、化石レプリカづくり
令和元年 7月20日	各務原市西ライフデザインセンター	一 般	19	市民参加の生きもの調査のすすめ
令和元年 7月23日	高富町中央公民館	小4～6	20	夏休み講座
令和元年 7月25日	揖斐川町歴史民俗資料館	小 学 生	20	まが玉作り
令和元年 7月26日	揖斐川町歴史民俗資料館	小 学 生	20	まが玉作り
令和元年 7月30日	多治見市三の倉市民の里地球村	小 学 生	33	化石取り出し、化石レプリカづくり、恐竜骨格を描く
令和元年 8月 3日	藍見地域ふれあいセンター	小 学 生	8	化石取り出し、組紐づくり
令和元年 8月 4日	岐阜市（みんなの森 ぎふメディアコスモス）	一 般	80	第1回生物多様性シンポジウム講師
令和元年 8月 6日	各務原市東ライフデザインセンター	一 般	43	各務原市の地質
令和元年 8月 8日	坂祝町教育委員会（坂祝町中央公民館）	小 学 生	23	万華鏡づくり、化石取り出し、組紐づくり
令和元年 8月 9日	各務原市東ライフデザインセンター	一 般	50	各務原市の地質
令和元年 8月10日	トヨタ白川郷自然学校	小4～6	30	恐竜足跡化石産地の解説授業と化石採集等の現地調査指導
令和元年 9月21日	関ヶ原古戦場整備推進課（関ヶ原ふれあいセンター）	一 般	50	関ヶ原古戦場の整備と記念館の役割
令和元年10月 2日	郡上市立大和西小学校	小 4	8	水生生物による環境調査活動
令和元年10月 8日	岐阜県教育委員会（岐阜県博物館）	教 職 員	113	幼稚園等新規採用教員研修
令和元年10月26日	岐阜市立藍川北中学校	中 学 生	12	化石取り出し、化石レプリカづくり、組紐づくり
令和元年11月 1日	岐阜県教育委員会（岐阜県博物館）	教 職 員	15	博物館活用講座
令和元年11月 2日	岐阜市岩小学校	小5～6	67	化石レプリカづくり
令和元年11月16日	各務原市立鷺沼第一小学校	小4～6	20	各務原市の地質
令和元年11月17日	各務原市少年自然の家	小中学生	36	チョウの鱗粉転写標本作製
令和元年11月22日	2019年度子ども科学教育研究全国大会実行委員会（岐阜市立陽南中学校）	一 般	測定不能	ポスターセッション発表
令和元年11月30日	青木啓将さんの博論出版を期する会ほか（名古屋大学）	一 般	測定不能	公開シンポジウム「現代日本刀の生成・刀都・関の刀の世界」発表
令和2年 1月18日	関ヶ原古戦場整備推進課（関ヶ原ふれあいセンター）	一 般	43	教育旅行に対する学習支援
令和2年 2月22日	藍見公民館（藍見小学校）	小 学 生	25	火起こし体験
		合 計	855	

## ⑦ 資料貸出

	機 関 名	資 料 名	貸出開始期日	貸出終了期日	点数
自然	岐阜市立陽南中学校	動物標本など	平成31年 4月 9日	平成31年 4月19日	3
	木曾三川事務所	動物標本など	平成31年 4月27日	令和元年 5月 6日	23
	関市立洞戸小学校	鳥類標本など	令和元年 6月 7日	令和元年 6月16日	8
	高山市立高山北小学校	無脊椎動物標本、昆虫標本	令和元年 6月16日	令和元年 7月 7日	6
	岐阜市立長良東小学校	昆虫標本	令和元年 6月16日	令和元年 7月 2日	7
	下呂市立金山小学校	昆虫標本	令和元年 6月22日	令和元年 7月13日	2
	みよし市立歴史民俗資料館	郡上市八幡町熊石洞産化石等	令和元年 7月 1日	令和元年10月20日	5
	大野市教育委員会	恐竜化石（岐阜県産獣脚類の歯）	令和元年 7月12日	令和元年11月15日	2
	岐阜市科学館	昆虫標本など	令和元年 7月15日	令和元年 9月 6日	127
	岐阜市歴史博物館	哺乳類標本	令和元年 7月26日	令和元年10月 1日	6
	高山市立東小学校	アンモナイト、オウムガイ標本	令和元年 8月 8日	令和元年 8月10日	2
	高山市立花里小学校	化石レプリカ作成キット	令和元年 8月29日	令和元年 9月 7日	25
	エコミュージアム関ヶ原	鳥類標本	令和元年 9月 5日	令和元年12月 3日	6
	郡上市立明宝中学校	頭骨標本	令和元年 9月14日	令和元年10月 1日	13
	郡上市立明宝中学校	頭骨標本	令和元年 9月21日	令和元年10月 1日	3
	関市立旭ヶ丘中学校	剥製及び化石標本	令和元年10月 7日	令和元年10月11日	7
	大垣市立江並中学校	頭骨標本	令和元年10月18日	令和元年11月 2日	19
	可見市立蘇南中学校	頭骨標本	令和元年10月23日	令和元年11月 1日	5
	岐阜大学研究推進社会連携機構	ライチョウ木彫	令和元年12月22日	令和2年 5月 2日	2
	大垣市立小野小学校	化石レプリカ作成キット	令和2年 2月16日	令和2年 2月23日	59
関市立洞戸小学校	動物標本	令和2年 1月 8日	令和2年 2月22日	16	
人文	高山陣屋管理事務所	トビ（川狩り用）他	平成31年 4月 1日	令和2年 3月31日	15
	済法寺	木造十一面観音立像（レプリカ）他	令和元年 5月 1日	令和2年 4月30日	5
	（公財）土岐市文化振興事業団	崇禅寺釈迦如来立像（レプリカ）	令和2年 1月15日	令和2年 6月20日	1
普及	美濃加茂市民ミュージアム	棚橋源太郎先生資料	令和元年 7月 6日	令和元年 9月20日	6
	合 計				377

⑦ 画像提供等

	機 関 名	資 料 名	貸出終了期日	点数	
自然	福井県立恐竜博物館	脊椎動物の脳 (ワニ・ハト・イヌ)	令和元年 6月30日	3	
	みよし市立歴史民俗資料館	郡上市八幡町熊石洞産化石等	令和元年 7月 1日	5	
	一宮市まちづくり部公園緑地課	恐竜の行跡データ	令和元年 9月 9日	1	
	東京大学大学院(個人)	カワウン (DNAサンプル採取)	令和元年12月18日	1	
人文	(株)ホビージャパン	真書太閤記 本能寺焼討之図	平成31年 4月26日	1	
	美濃源氏フォーラム事務局本部	太平記英勇伝 菜藤右兵衛大夫勝興	令和元年 5月16日	1	
	(株)天夢人	太刀 銘 濃州関住人兼定/享徳三年二月日	令和元年 6月27日	1	
	(株)天夢人	河村家家系図	令和元年 7月12日	1	
	関市	刀 銘 和泉守藤原朝臣兼定/慶應元丑年八月日ほか	令和元年 8月 6日	10	
	個人	新井水堀築城証文留ほか	令和元年 8月28日	4	
	個人	飛騨国絵図	令和元年 8月28日	1	
	愛知県総務局総務部法務文書課県史編さん室	小松政 岐阜県愛知県大地震実況	令和元年11月12日	1	
	(株)朝日新聞出版	太平記屋間崎大合戦之図	令和元年11月 8日	1	
	(株)ミネルヴァ書房	太平記英勇伝 菜藤右兵衛大夫勝興	令和元年11月22日	1	
	(株)ホビージャパン	真書太閤記 本能寺焼討之図	令和元年11月20日	1	
	(有)由木デザイン	脇指 銘 二王	令和元年11月30日	1	
	(株)NHK出版	葛飾北斎 諸国瀧廻り 木曾路ノ奥阿弥陀ヶ瀧	令和元年12月 3日	1	
	(株)ティラナダチ	太平記屋間崎大合戦之図	令和元年12月 3日	1	
	(株)ホビージャパン	真書太閤記 本能寺焼討之図	令和元年12月 9日	1	
	羽島市教育委員会学校教育課	中部地方地震の惨状ほか	令和元年12月11日	2	
	大村市歴史資料館	板垣君遭難之図	令和元年12月20日	1	
	NHK津放送局	刀 銘 濃州赤坂住兼元	令和元年12月24日	1	
	(株)天夢人	太平記英勇伝 大多上総介平春永公	令和2年 1月27日	1	
	(株)碧水社	日竜峯寺多宝塔模型写真	令和2年 3月18日	1	
	合 計				43

⑧ 刊行物

名 称	種 別	発行年月日	判、仕様	部数
岐阜県博物館報第42号	刊 行 物	平成31年 4月 1日	A4、43 頁	700
岐阜県博物館調査研究報告第40号	刊 行 物	令和2年 3月31日	A4、25 頁	600
令和2年度 展示・催し物年間スケジュール	リーフレット	令和2年 3月31日	A4、3ツ折	40,000
館内ガイド	リーフレット	令和2年 3月31日	A4、3ツ折	30,000
2020 教員のための博物館の日 in 岐阜県博物館	チ ラ シ	令和2年 3月31日	A4、両面	1,800
<b>【展覧会刊行物】</b>				
企画展「ひだの地質紀行」	ポスター	平成31年 4月27日	B2、片面	1,600
企画展「ひだの地質紀行」	チ ラ シ	平成31年 4月27日	A4、両面	34,000
連携企画展「岐阜の山城調査」	ポスター	平成31年 4月27日	B2、片面	1,400
連携企画展「岐阜の山城調査」	チ ラ シ	平成31年 4月27日	A4、両面	26,000
移動展「ヒアリがやってくる」	ポスター	令和元年 6月29日	B2、片面	1,400
移動展「ヒアリがやってくる」	チ ラ シ	令和元年 6月29日	A4、両面	26,000
特別展「剣精霊貫白虹」	ポスター	令和元年 7月12日	B2、片面	1,800
特別展「剣精霊貫白虹」	チ ラ シ	令和元年 7月12日	A4、両面	110,000
特別展「剣精霊貫白虹」	図 録	令和元年 7月12日	A4、86 頁	600
特別展「岐阜は日本のど真ん中」	ポスター	令和元年 9月20日	B2、片面	1,800
特別展「岐阜は日本のど真ん中」	チ ラ シ	令和元年 9月20日	A4、両面	110,000
特別展「岐阜は日本のど真ん中」	図 録	令和元年 9月20日	A4、62 頁	600
連携企画展「Historia Universitatis Gifuensis-岐阜大学70年のあゆみ-」	ポスター	令和元年 9月28日	B2、片面	1,600
連携企画展「Historia Universitatis Gifuensis-岐阜大学70年のあゆみ-」	チ ラ シ	令和元年 9月28日	A4、両面	34,000
企画展「岐阜の城館探訪」	ポスター	令和元年11月23日	B2、片面	1,600
企画展「岐阜の城館探訪」	チ ラ シ	令和元年11月23日	A4、両面	34,000
連携企画展「清流長良川」	ポスター	令和2年 1月18日	B2、片面	1,400
連携企画展「清流長良川」	チ ラ シ	令和2年 1月18日	A4、両面	26,000
<b>【マイ・ミュージアム刊行物】</b>				
マイ・コレクション 第179号	チ ラ シ	平成31年 4月20日	A4、両面	1,500
マイ・コレクション 第180号	チ ラ シ	令和元年 6月22日	A4、両面	1,500
マイ・コレクション 第181号	チ ラ シ	令和元年 8月 3日	A4、両面	1,500
マイ・コレクション 第182号	チ ラ シ	令和元年 9月14日	A4、両面	1,500
マイ・コレクション 第183号	チ ラ シ	令和元年11月 2日	A4、両面	1,500
マイ・コレクション 第184号	チ ラ シ	令和2年 1月 4日	A4、両面	1,500
マイミュージアムギャラリー	ポスター	令和2年 3月31日	B2、片面	1,600
マイミュージアムギャラリー	チ ラ シ	令和2年 3月31日	A4、両面	14,000

⑨ 図書館資料(令和2年3月31日現在)

	図書館資料数	備 考
一 般 資 料	23,204	含 刀剣文庫
郷 土 資 料	6,006	
児 童 書	1,104	
博 物 館 資 料	5,766	含 当館資料、棚橋文庫、熊田文庫
合 計	36,080	

## (2) 広報活動

入館者及びの館外での博物館利用者の増加を目指して、広報活動の充実を図った。

### ① 館外掲示の活用

博物館入口前、百年公園北口及び南口の掲示物ケース内に直近及び2か月中に開催予定の催し物情報を示し、百年公園来園者に対する当館への誘導を行った。また、特別展・企画展開催中であることを、公園北口から館入口までの各掲示板にポスターを用いてアピールした。

### ② 館内掲示の活用

館入口から本館インフォメーションまでの入館者の移動経路上に、過去の特別展・企画展のポスターアーカイブ、人文・自然分野の特集、館内見どころ案内などを掲示して、博物館の活動や所蔵資料等に対する入館者の興味関心の高揚に努めた。

### ③ 情報誌の積極的な活用

県内及び近隣の県で発行されている情報誌や、全国紙のウェブサイト上の読者プレゼントコーナーに招待券を提供した。展覧会の内容に興味関心がある方々が自身で応募されているので、提供した招待券の多くは活用されている。

### ④ 情報配信メールの活用

情報配信リストに登録された方に、催し物や講演会、各種講座の開催情報を提供した。各イベントの面白さや意義などを伝えることで、参加者の増加につながった。

### ⑤ SNSによる積極的な情報の発信

ホームページに組み込んである当館公式ツイッターと公式Facebookページを積極的に活用し、楽しくてためになるタイムリーな情報発信に努めた。日頃からSNSに慣れ親しんでいる若い世代への情報提供に役立ち、「いいね」やリツイートの数も増えてきている。その他、開催するイベント告知だけでなく、各係・学芸員発の専門色のある旬の情報発信も好評だった。

### ⑥ 人気マスコットキャラクターの活用

当館の人気キャラクターの「博くん」「アロちゃん」「デスモスさん」を館内外の掲示やSNSへ登場させて、広報大使を務めさせた。昨年に引き続き、夏から秋にかけてインターネット上で投票が行われる「ミュージアムキャラクターアワード2019」に博くんを立候補させた。その結果、全国に博くんファンが増えていき、昨年より2つ順位を上げて、全国8位に入賞し表彰された。

## (3) 博物館実習 (大学生向け)

7月23日(火)から7月27日(土)までの5日間、岐阜聖徳学園大学(2名)、岐阜女子大学(1名)、静岡大学(1名)、鳥取大学(1名)、名城大学(1名)の5大学から6名の学生を受け入れた。分野別の受け入れ状況は、教育普及3名、自然2名、人文1名であった。実習内容は下記の通りである。

### 〈実習内容〉

第1日目	開講式、館長講話、学芸部長講話、岐阜県博物館の概要、博物館学芸員の仕事、自然係の仕事・自然資料の概要、教育普及係の仕事
第2日目	人文係の仕事・人文資料の概要、マイ・ミュージアム係の仕事、分野別実習
第3日目	分野別実習
第4日目	分野別実習
第5日目	分野別実習、閉講式

## (4) 職場体験学習 (中学生)

関市及び岐阜市の中学校6校から職場体験学習の依頼を受け、各校1～3日間の日程で、各3～5名の生徒を受け入れた。時期は10～11月及び2月で、「広報物の発送作業」「掲示物製作」「来館者対応」「小学校団体対応」などの教育普及業務を中心に体験させた。

## (5) 教員のための博物館の日

国立科学博物館が提唱する教員向けプログラム「教員のための博物館の日」を開催した。当館での開催は4年目となる。開催日は7月末から8月頭の連続する3日間とし、この3日間の教職員の入館料及び体験料は無料とした。

実施内容は、各展示解説、ものづくり体験、博物館の活用例紹介などの時間割をあらかじめ組んでおき、参加者個々が好きなプログラムを選択して参加できる方法をとった。今年度は新規に学芸員によるワンテーマ解説を加えた。テーマを絞ってより深く取り扱う専門的な解説は、参加者に大変好評だった。

ホームページでの開催告知、県内の高等学校・特別支援学校への電子メールでの案内、小・中学校への案内チラシの配布などで周知にも努めた。また、昨今の働き方改革の流れを加味して開催時期を例年よりやや早めるとともに、関市及び各務原市教育委員会には、夏季休業中の教職員向け研修・講座の一つとして本事業が利用された。

### 〈開催日・参加人数〉

	開催日・時間	参加人数
第1日目	7月31日(水) 9:30～12:00	15名
第2日目	8月1日(木) 9:30～12:00	47名
第3日目	8月2日(金) 9:30～12:00	58名

### 〈実施内容〉

特別展解説	劍精霊貫白虹 幕末美濃の剣豪と名刀
常設展解説	人文展示室、自然展示室1、自然展示室2
学芸員ワンテーマ解説	関ヶ原合戦、県内の器、遺跡、美濃国・飛騨国、身近な教材植物、化石と古生物、動物剥製などの標本、岐阜県の地質
解説員解説	恐竜、鵜飼、合掌造り、輪中
マイミュージアムギャラリー解説	鉄道模型で見ると昭和から平成、そして未来へ
教育普及活動紹介	授業で活用できる資料や講座等紹介
わくわく体験	化石レプリカづくり、組紐ストラップづくり他

## (6) 三重県総合博物館 (MieMu) との交流事業

今年度も、互いの職員が出向いて交流企画講演会を行った。

### 〈実施内容〉

#### 【三重県総合博物館 (MieMu) からの派遣】

日時	令和元年10月5日
演題	「植物のかたち、その観察」
講師	森田 奈菜 (三重県総合博物館学芸員)
会場	岐阜県博物館

#### 【岐阜県博物館からの派遣】

日時	令和元年10月20日
演題	「仏像が移動する? —安置場所が変わる事情—」
講師	守屋 靖裕 (岐阜県現代陶芸美術館学芸員)
会場	三重県総合博物館 (MieMu)

## 9 利用状況

### (1) 利用者数

令和元年度は、総利用者数は158,642人（H.30：249,375人）で、内訳は館内への入館者が57,236人（H.30：60,744人）、移動展が78,749人、移動博物館が22,342人等であった。

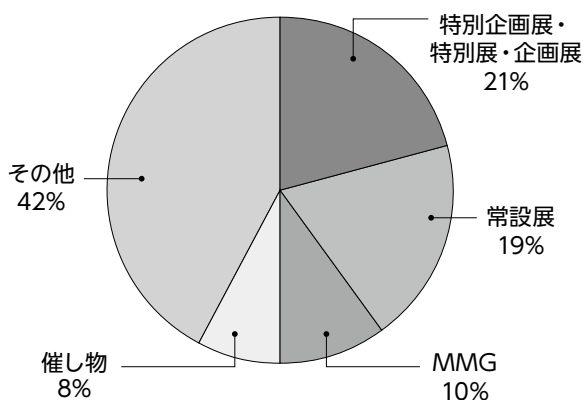
また、団体入館者は、166団体9,768人で、博物館入館者総数の17%を占め、10月が一番多く55団体であった。

月	館内利用					館内及び館外利用	
	総入館者数	一般	大学生	高校生以下	一日平均	総利用者数	一日平均
4	2,868	1,624	125	1,119	110	4,963	191
5	5,451	2,863	55	2,533	202	10,112	375
6	3,073	2,017	21	1,035	118	27,367	1,053
7	4,837	3,309	75	1,453	186	31,565	1,214
8	7,460	5,005	86	2,369	276	30,247	1,120
9	4,948	3,276	47	1,625	198	5,578	223
10	7,794	3,736	16	4,042	300	24,822	955
11	7,022	3,554	25	3,443	270	7,402	285
12	2,685	1,867	24	794	112	2,858	119
1	5,207	3,790	27	1,390	217	6,408	267
2	3,423	2,137	19	1,267	137	4,852	194
3	2,468	1,500	29	939	95	2,468	95
計	57,236	34,678	549	22,009	186	158,642	515

特別展	期間	一般	大学生	高校生以下	計
剣精霊貫白光 一幕末美濃の剣豪と名刀	7/12(金)～9/8(日)(51日間)	8,228	186	4,197	12,611
岐阜は日本のど真ん中 一岐阜県植物誌は語る	9/20(金)～11/17(日)(51日間)	5,438	45	7,027	12,510

### (2) 来館者アンケート

来館者の実態や意識を把握して今後の博物館運営に生かすために、アンケート調査とその結果を考察している。このアンケートは、館内数か所に設置した回収箱付近で、来館者が自発的に記入して投函する方法で行っているものである。令和元年度の回収数は345枚で、昨年度と同程度であった。



【図1 来館目的 (複数選択可 n=345、H31年4月～R2年3月)】

来館目的では、図1に示すように、「特別展・企画展」「常設展」の2項目が多く、この傾向は例年と変わらなかった。「その他」の中には「百年公園に来たので」「博物館に興味を持ったので」が含まれ、それぞれ15%、13%の割合であった。これは、百年公園内での掲示や各種メディアへの情報提供、民間施設など館外でのイベント開催・出展などによる広報

活動が功を奏したものと考えられる。

【表1 来館者の満足度 (選択式 n=294、H.31年4月～R.2年3月)】

※選択肢は「大変良い」「まあ良い」「あまり良くない」「良くない」の4つ。このうち前2者、後2者をそれぞれ合わせた割合を、満足度、不満足度として示す。満足度の列の( )内の数値は、無回答分を除いて算出した満足度を表す。

内容	満足度	不満足度	無回答
特別展・企画展	88 (93)	7	5
常設展	81 (95)	4	15
MMG	68 (93)	5	27
展示解説	65 (91)	6	29
催し物	63 (93)	5	32

[%]

来館者の満足度については、表1に示すように、いずれも91%以上と高い。特別展・企画展もさることながら、常設展の良さにも目を向けていただいていることがわかる。常設展を活用した子ども用の展示ワークシートが家族連れの来館者を中心に楽しまれているほか、ナイトミュージアムでの博物館探検シートなども好評であった。

無回答の割合が、約5～32%あるのは、回答者の来館日にその内容が開催されていなかったこと、ご覧いただけなかったことも考えられる。各内容の魅力や館内外でさらに広報していくことが今後の課題である。

記述式による回答には、建物や展示物の老朽化の指摘や



交通の便、ショップの営業やカフェの併設などハード面に関する要望の一方で、より子どもが楽しめるプログラムや体験型イベントの増設の要望もあった。館内外にある魅力的な資源

(物的、人的、環境的など)の活用など、ソフト面におけるさらなる工夫改善・充実を図っていく。

## 10 博物館関係団体

### (1) 岐阜県博物館友の会

博物館「友の会」は、博物館事業の普及を図るとともに、会員相互の教養を高め、親睦を深めることを目的とする会である。そのために、博物館と密接に連携を取り、博物館の事業や活動をサポートしている。

令和元年度の一般会員数は250名、後援会員は6団体である。会員数は一昨年よりほぼ横ばい状態である。これは、特展の内容のよさに起因し加入者は増えている一方、継続会員の高齢化が進み、退会者も多い現実がある。

若い人たちをより惹きつけるような会になるよう、博物館と一層の連携を図り、生涯学習に繋がる魅力的な活動を推進していくことが課題である。

令和元年度の主な事業、行事は次の通りである。

#### ① 会議

春季理事会・総会 5月9日(木)  
 秋季理事会 10月10日(木)  
 会長・副会長会議 3月14日(土)

#### ② 各種委員会

会報委員会 4月18日(木)  
 七草委員会 11月30日(土)、1月5日(日)

#### ③ 広報誌の発行

「友の会報」は125号(6月)、126号(10月)、127号(2月)の年3回発行した。各誌A4判6頁。各270部発行した。

#### ④ 図録の刊行と在庫図録の販売

特別展に合わせ、「剣精霊貫白紅-幕末美濃の剣豪と名刀-」「岐阜は日本のど真ん中-岐阜県植物誌は語る-」の2種類の図録を刊行した。在庫図録の販売は、館内ショップでの販売と以下の3つの外部施設での委託販売が中心である。「下呂温泉博物館」、「東京国立博物館」、「国立歴史民俗博物館」。

また、刊行後10年を経過した図録のうち展示に関係する一部の図録については、価格を値下げし販売した。

#### ⑤ 博物館との共催事業の実施

- ・特別行事「七草がゆを食べよう(1月7日)」は好天に恵まれテレビ3社、新聞2社の取材報道と165人の来客があった。友の会員の他、サポーター、ボランティアの方々の協力もあって、おいしい七草がゆを来客者に提供することができた。
- ・わくわく体験は、児童・生徒を対象に化石取り出し体験、化石レプリカづくり、万華鏡づくり等をサポーターの協力も得て、原則月2回、日曜日に実施した。また、出張けんぱく教室でも実施し、年間3,538人の参加者があった。
- ・けんぱく教室は、「まが玉をつくろう」「水晶ジオード割り体験」「昆虫標本をつくろう」などを実施した。

#### ⑥ 友の会員の入館料助成

今年度の会員の博物館入館者は、常設展328人、特別展期間223人の計551人で、その入館料(団体料金相当)を助成した。

### ⑦ 探訪の旅

会員相互の親睦を図るとともに、見聞を広め、教養を高めるために、海外への探訪並びに国内探訪を実施している。昭和61年以降今日まで、国内探訪として、歴史的名所、旧蹟を訪ねる旅行を82回実施した。平成4年からは、更に海外探訪の旅を加え、世界遺産見学を中心に、これまでに16回に及ぶ訪問国の文化と歴史を研修する旅を進めてきた。研修と見学を柱とした友の会探訪の旅の特色は次の通りである。

- ・探訪の目的を明確にして、手作りの日程を策定する。
- ・会独自の解説書を作成し、参加者全員に配布して、現地での研修、見学に活用している。

令和元年度の探訪の旅は以下の通りである。

- ・「西尾市吉良町の仏堂と竹島海岸(蒲郡)を訪ねて」  
6月2日(日) 参加者43名
- ・「八重山諸島を巡る旅」  
11月25日(月)~28日(木) 参加者21名

### (2) 岐阜県博物館協会

岐阜県博物館協会は、「会員相互の連絡提携のもとに社会教育の健全な推進と文化の向上に寄与すること」を目的に、昭和41年に設立された。

平成31年度は県民文化講演会「地方の文化の魅力に触れる」のほか、公開講座(年9回)、機関紙発行(年2回)、会員研修会(年3回)等の諸事業を行った。

令和2年3月現在、会員館は117館、個人会員は12名。主な役員は次の通りである。

若宮多門(会長)、名和哲夫(副会長)、日比野克彦、平井克昭、高橋秀治、尾崎啓介、なお、事務局は岐阜県博物館内にある。

#### (主な事業)

4/12	第1回企画委員会
6/9	第1回理事会・総会・県民文化講演会
7/12	第97回会員研修会
8/7	東海地区博物館連絡協議会・日本博物館協会東海支部理事会・総会(山梨)
8/25	もの部会×中濃ブロック部会公開講座
9/1~9/7	国際博物館会議(ICOM)京都大会
9/5	第67回全国博物館大会(京都)
9/30	機関紙『岐阜の博物館』No.185発行
10/20	東濃ブロック部会公開講座
11/6	第44回東海三県博物館協会研究交流会(三重)
11/10	岐阜ブロック部会施設見学会
11/13	西濃ブロック部会研修会
11/23	飛騨ブロック部会公開講座
12/13	もの部会施設見学会
12/16	第2回企画委員会
1/10	第99回会員研修会
1/26	岐阜ブロック部会施設見学会
3/6	第2回理事会
3/15	第96回会員研修会
3/31	機関紙『岐阜の博物館』No.186発行



## IV 利用案内(令和2年度)

- 開館時間 4月～10月 9時～16時30分(入館は16時まで)  
11月～3月 9時30分～16時30分(同上)

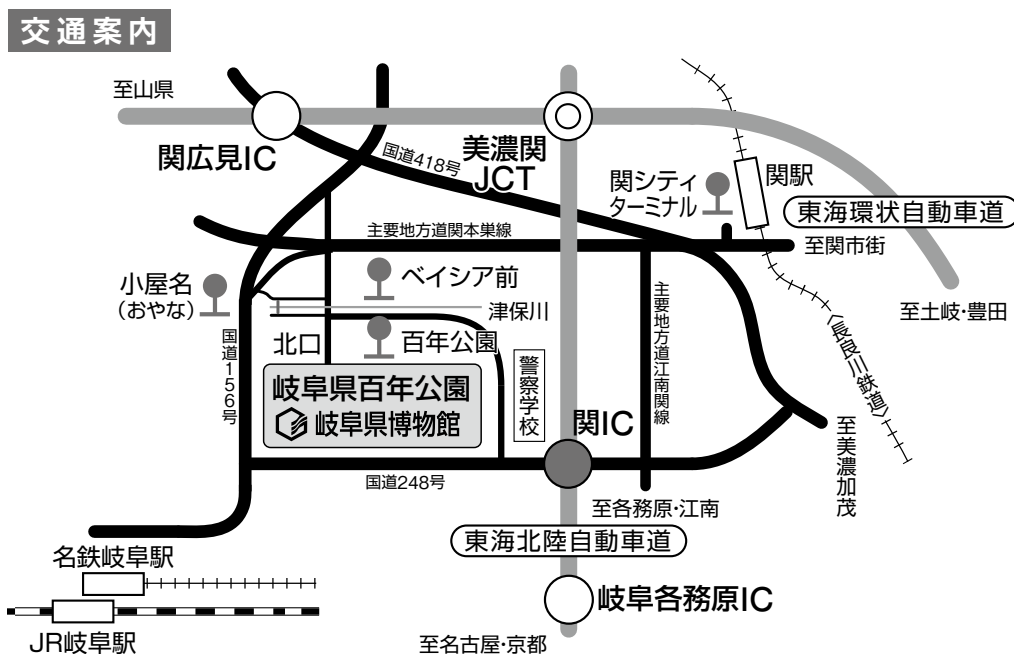
●入館料

区 分	本 館		マイ・ミュージアム
	通 常	特別展開催中	
一 般	340(280)円	600(520)円	無 料
大 学 生	110(50)円	300(200)円	
高校生以下	無 料	無 料	

( )は20名以上の団体

- 休館日 ・月曜日(祝日または振替休日の月曜日は開館し、その直後の平日が休館)  
・年末年始(12月29日～翌年1月3日)

- 駐車場 岐阜県百年公園北口駐車場をご利用ください。



- 東海北陸自動車道 関インターから車で5分
- 岐阜バス(小屋名バス停下車 徒歩20分)
  - ※岐阜駅方面からは、岐阜バスターミナル又はJR岐阜駅14番乗り場でご乗車ください。(岐阜関線、岐阜美濃線)
  - ※関駅からは、関駅西側の関シティターミナルバス停からご乗車ください。(岐阜関線)
- 関シティバス(百年公園バス停下車 300m)
  - ※関駅からは、関駅西側の関シティターミナルバス停からご乗車ください。(わかかさ・小金田線、わかかさ・千疋線)

お車でお越しの方は岐阜県百年公園北口駐車場(無料)をご利用ください。  
北口から博物館まで300mです。歩行が困難な方は博物館入口までお車の乗り入れができますので、百年公園管理事務所までお申し出ください。  
※南口駐車場から博物館までは、徒歩約2km(勾配有り)です。

## 清流の国ぎふ憲章

～ 豊かな森と清き水 世界に誇れる 我が清流の国 ～

「清流の国ぎふ」に生きる私たちは、

**知** 清流がもたらした自然、歴史、伝統、文化、技を知り学びます

**創** ふるさとの宝ものを磨き活かし、新たな創造と発信に努めます

**伝** 清流の恵みを新たな世代へと守り伝えます

平成26年1月31日 「清流の国ぎふ」づくり推進県民会議

### 岐阜県博物館報 第43号

令和2年(2020)4月1日 発行

編集・発行 岐阜県博物館  
関市小屋名1989 (岐阜県百年公園内)  
TEL 〈0575〉28-3111

印刷 有限会社大六印刷